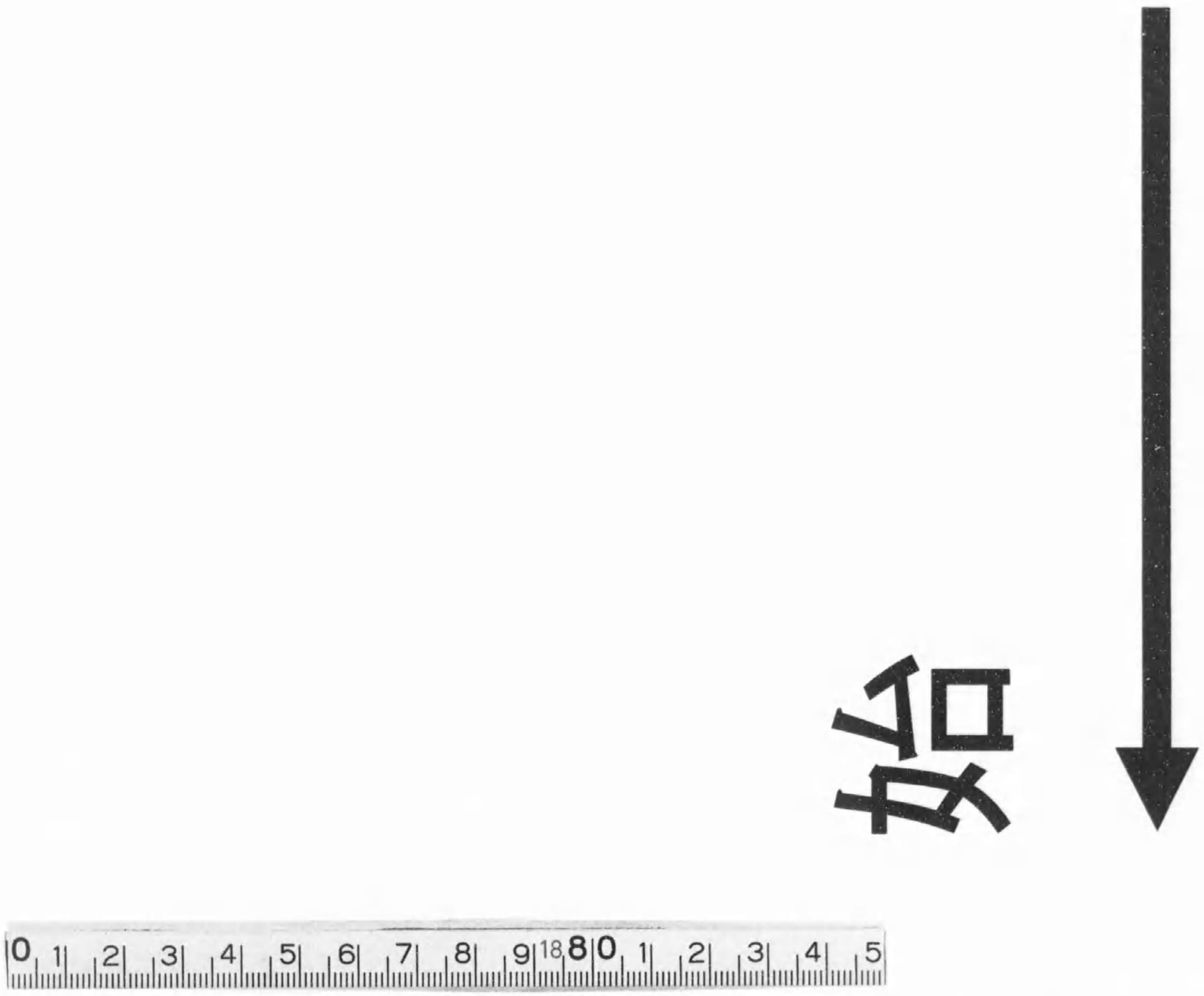
332
69



はしがき

一　人の運命を判斷する本も隨分澤山出版せられてをる故、斯ふ云ふことに興味を持つ人々は彼の本も見た此本も讀むだと云ふであらふ、然し其編纂者によりて各得意とするところがある故、前に云ふ如き人々には本書の或頁には既に知り拔いてをることもあろふ、されど又或頁にはそれ等の人の未知の事が詳しく記されて大ひに啓發することがあると信ずる。

一　ましてや是迄占ひのうの字も知らぬ人が、何等かの動機で其運命や其他日常の出來事に就て、自分で調べて見よふと云ふ人々には、實に本書は好適であると云ひ得る。

それは内容が、易占、九星、干支、家相方位、人相手相骨相、男女相性日の吉凶、相場高底判斷、生れ月日による運勢等各人の一代の

特217
217

運勢も分れば又日常の出來事をば、通俗的に平易に普遍的に所謂素人に容易く判斷出來るよふ編纂せられてある。

人生は俗に一寸先は闇だと云ふが、闇の夜道を行くにも其行先を照らす燈火を携帶すれば何等の危險もなく安全に進むことが出來る、本書は前に述べし如き内容なれば常に座右に備え、常住坐臥本書に親しまば、人生行路の闇夜を照らす燈火ともなりて常に明かるき氣持ちにて愉快に敏捷に此世の中を進むことが出來るであらふ。

本書を世に公けにするに當り些か所信を述ぶるのである。

昭和五年初秋

編者述

獨り占ひ秘法目次

總說運勢開發法秘傳

第一編 易學秘傳

第一章 六十四卦圖解……一
第二章 占ひ法の說明……五
第三章 六十四卦の說明と占斷……一一

乾爲天……一一　坤爲地……一四　水雷屯……一七
山水蒙……二〇　水天需……二三　天水訟……二五
地水師……二八　水地比……三〇　風天小畜……三三
天澤履……三六　地天泰……三八　天地否……四一
天火同人……四三　火天大有……四六　地山謙……四九

雷地豫……五一　澤雷隨……五四　山風蠱……五七
地澤臨……五九　風地觀……六二　火雷噬嗑……六五
山火賁……六七　山地剝……七〇　地雷復……七二
天雷旡妄……七五　山天大畜……七八　山雷頤……八〇
澤風大過……八三　坎爲水……八五　離爲火……八八
澤山咸……九〇　雷風恒……九三　天山遯……九五
雷天大壯……九八　火地晉……一〇一　地下明夷……一〇三
風火家人……一〇六　火澤睽……一〇九　水山蹇……一一
雷水解……一一四　山澤損……一一七　風雷益……一一九
澤天夬……一二三　天風姤……一二五　澤地萃……一二七
地風升……一三〇　澤水困……一三三　水風井……一三五
澤火革……一三八　火風鼎……一四〇　震爲雷……一四三
艮爲山……一四六　風山漸……一四八　雷澤歸妹……一五一
雷火豐……一五四　火山旅……一五六　巽爲風……一五九

兌爲澤……一六二　風水渙……一六五　水澤節……一六八
風澤中孚……一七一　雷山小過……一七四　水火既濟……一七六
火水未濟……一七九

第二編　干支秘傳

序說……一八三
第一章　十干と一代の運勢……一八四
甲年に生れたる人の性質と運勢……一八四　乙年に生れたる人の性質と運勢……一八五
丙年に生れたる人の性質と運勢……一八五　丁年に生れたる人の性質と運勢……一八五
戊年に生れたる人の性質と運勢……一八六　己年に生れたる人の性質と運勢……一八六
庚年に生れたる人の性質と運勢……一八七　辛年に生れたる人の性質と運勢……一八七
壬年に生れたる人の性質と運勢……一八七　癸年に生れたる人の性質と運勢……一八八
第二章　十二支と一代の運勢……一八八
序說……一八八　子年に生れたる人の性質と運勢……一九〇

丑年に生れたる人の性質と運勢……一九一
寅年に生れたる人の性質と運勢……一九二
卯年に生れたる人の性質と運勢……一九三
辰年に生れたる人の性質と運勢……一九四
巳年に生れたる人の性質と運勢……一九五
午年に生れたる人の性質と運勢……一九六
未年に生れたる人の性質と運勢……一九七
申年に生れたる人の性質と運勢……一九八
酉年に生れたる人の性質と運勢……一九九
戌年に生れたる人の性質と運勢……一九七
亥年に生れたる人の性質と運勢……一九九

第三章　十干の巡合せによる各年の運勢……二〇〇
甲、乙年生れの人の各年の運勢……二〇〇
丙、丁年生れの人の各年の運勢……二〇〇
戊、己年生れの人の各年の運勢……二〇一
庚、辛年生れの人の各年の運勢……二〇一
壬、癸年生れの人の各年の運勢……二〇一

第四章　十二支の巡合せによる各年の運勢……二〇二
子、亥年生れの人の各年の運勢……二〇二
寅、卯年生れの人の各年の運勢……二〇三
辰、未、戌年生れの人各年の運勢……二〇三
巳、午年生れの人の各年の運勢……二〇四
申、酉年生れの人の各年の運勢……二〇四

第五章　十干十二支の巡合せによる月日時の運勢……二〇五

第三編　九星秘傳

序説……二〇九
第一章　年の九星繰方……二一〇
第二章　月の九星繰方……二一三
第三章　日の九星繰方……二一五
第四章　時の九星繰方……二一八
第五章　九星と一代の運勢……二二〇
一白水星の人の性格と運勢……二二〇
二黒土星の人の性格と運勢……二二〇
三碧木星の人の性格と運勢……二二一
四緑木星の人の性格と運勢……二二二

五黄土星の人の性格と運勢……二二三
六白金星の人の性格と運勢……二二三
七赤金星の人の性格と運勢……二二四
八白土星の人の性格と運勢……二二四
九紫火星の人の性格と運勢……二二五

第六章　九星の巡合せによる各年の運勢……二二六

一白水星の人の運勢……二二六
二黒土星の人の運勢……二二九
三碧木星の人の運勢……二三一
四緑木星の人の運勢……二三四
五黄土星の人の運勢……二三七
六白金星の人の運勢……二四〇
七赤金星の人の運勢……二四三
八白土星の人の運勢……二四六
九紫火星の人の運勢……二四九

第四編　生れ月日による運勢の秘傳

第一章　生れ月による運勢……二五三

一月生れの人の運勢……二五三
二月生れの人の運勢……二五三
三月生れの人の運勢……二五四
四月生れの人の運勢……二五四
五月生れの人の運勢……二五五
六月生れの人の運勢……二五五
七月生れの人の運勢……二五六
八月生れの人の運勢……二五六
九月生れの人の運勢……二五六
十月生れの人の運勢……二五七
十一月生れの人の運勢……二五七
十二月生れの人の運勢……二五八

第二章　生れ日による運勢……二五八

一　日生れの人の運勢……二五八
二　日生れの人の運勢……二五九
三　日生れの人の運勢……二五九
四　日生れの人の運勢……二五九
五　日生れの人の運勢……二五九
六　日生れの人の運勢……二五九
七　日生れの人の運勢……二六〇
八　日生れの人の運勢……二六〇
九　日生れの人の運勢……二六〇
十　日生れの人の運勢……二六〇
十一日生れの人の運勢……二六〇
十二日生れの人の運勢……二六〇
十三日生れの人の運勢……二六一
十四日生れの人の運勢……二六一

十五日生れの人の運勢……二六一
十六日生れの人の運勢……二六一
十七日生れの人の運勢……二六一
十八日生れの人の運勢……二六一
十九日生れの人の運勢……二六二
二十日生れの人の運勢……二六二
廿一日生れの人の運勢……二六二
廿二日生れの人の運勢……二六二
廿三日生れの人の運勢……二六二
廿四日生れの人の運勢……二六三
廿五日生れの人の運勢……二六三
廿六日生れの人の運勢……二六三
廿七日生れの人の運勢……二六三
廿八日生れの人の運勢……二六三
廿九日生れの人の運勢……二六三
三十日生れの人の運勢……二六三
卅一日生れの人の運勢……二六四

第五編　相性吉凶秘傳

相性吉凶に就いての注意……二六五
第一章　十干の相性吉凶……二六五
甲年及び乙年生れの人の相性吉凶……二六五
丙年及び丁年生れの人の相性吉凶……二六六
戊年及び己年生れの人の相性吉凶……二六七
壬年及び癸年生れの人の相性吉凶……二六八
庚年及び辛年生れの人の相性吉凶……二六七
第二章　十二支の相性吉凶……二六八
寅年及び卯年生れの人の相性吉凶……二六八
巳年及び午年生れの人の相性吉凶……二六九
丑年、辰年、未年及び戌年生れの人の相性吉凶……二七〇
亥年及び子年生れの人の相性吉凶……二七〇
申年及び酉年生れの人の相性吉凶……二七〇
第三章　九星の相性吉凶……二七一
一白水星の生れの人の相性吉凶……二七一
二黒土星の生れの人の相性吉凶……二七二
三碧木星の生れの人の相性吉凶……二七二
四緑木星の生れの人の相性吉凶……二七三
五黄土星の生れの人の相性吉凶……二七三
六白金星の生れの人の相性吉凶……二七三
七赤金星の生れの人の相性吉凶……二七四
八白土星の生れの人の相性吉凶……二七四
九紫火星の生れの人の相性吉凶……二七五

第四章　納音の相性吉凶……二七六
五行の相生と相尅……二七六　納音海中の金の生れの人の相性吉凶……二七七

第六編　方位吉凶秘傳

序　説……二七九
第一章　最も重んずべき凶方位……二八〇
第一節　五黄殺と暗剣殺……二八〇
第二節　本命的殺と干支本命的殺……二八二
第三節　歳　破……二八三
第二章　第一章に説明せる以外の凶方位……二八四
大　将　軍……二八四　太　歳　神……二八五　大　陰　神……二八五
歳　刑　神……二八五　歳　殺　神……二八六　黄　旛　神……二八六
豹　尾　神……二八七　大金神及姫金神……二八七　鬼　門……二八八
第三章　月の凶方……二八八
第四章　吉方位の説明……二九〇
天　道　神……二九三　天　徳　神……二九三　歳　徳　神……二九四
第五章　方位吉凶に關する注意事項……二九五
第一節　方位の吉凶を定むる主體……二九五
第二節　自動的行動と他動的行動の差違……二九六
第三節　方位轉換及び星祭りのこと……二九六
第四節　凶方位を犯したる場合の注意……二九八

第七編　吉凶日秘傳

序　説……二九九

第一章　九星による吉凶日……二九九
第二章　干支による吉凶日……三〇二
第三章　上述以外に一般に用ゐらるゝ吉凶日の説明……三〇四
第一節　十二直の説明……三〇四
第二節　二十八宿の説明……三〇六
第三節　六曜日及び九曜日の説明……三一〇
第四節　その他一般に用ゐらるゝ吉凶日の説明……三一二
第一項　吉日の説明……三一三　第二項　凶日及び忌日の説明……三一五
第四章　吉凶日の定め方に關する注意……三一九

第八編　相場必勝秘傳

序説……三二一
第一章　易學による相場高下の豫斷……三二二
第二章　相場高下月日割出法……三二三
第一節　一ヶ年間月割相場高下割出法……三二三
第二節　一ヶ月間日割相場高下割出法……三二五
第三章　相場値巾割出法……三二六
第四章　九星干支より見たる各人の相場運……三二八
第一節　九星による相場運の強弱……三二八
第二節　十干による相場運の強弱……三三〇
第三節　十二支による相場運の強弱……三三二
第五章　相場の高下に影響を及ぼす種々なる事項の説明……三三六
第一節　九星干支と相場の高下との關係……三三六
第二節　七曜日と月の滿虧……三三七
第三節　以上に説明せる以外の種々なる事項……三三八
第六章　相場必勝の秘訣……三三八

第九編 家相秘傳

序説……三四五
第一章 家相吉凶の原理……三四七
第二章 家相と地相との調和……三五〇
第三章 家相の立體的研究及び家相と職業との關係……三五二
第四章 家相及び地相に於ける中心の定め方……三五四
第一節 地相の中心の定め方……三五五
第二節 家相の中心の定め方……三五七
第五章 全體より見たる家相及び地相の吉凶……三六一
第一節 全體より見たる吉相の家……三六一
第二節 全體より見たる凶相の家……三六三
第六章 地相の吉凶……三六六

第一節 吉相の地相……三六六
第二節 凶相の地相……三七〇
第七章 家相の吉凶……三七八
第一節 吉相の家相……三七八
第二節 凶相の家相……三八一
第三節 井戸に就ての吉凶……三八五
第一項 井戸を設くるに吉相なる部位……三八五
第二項 井戸を設くるに凶相なる部位……三八六
第四節 厠に就いての吉凶……三八七
第一項 厠を設くるに吉相なる部位……三八七
第二項 厠を設くるに凶相なる部位……三八八
第五節 竈に就いての吉凶……三八九
第一項 竈を設くるに吉相の部位……三八九
第二項 竈を設くるに凶相の部位……三九〇

第六節　湯殿を設くるに就いての吉凶部位……三九〇
第七節　窓を設くるに就いての吉凶部位……三九一
第八節　門及び玄關に就いての吉凶……三九一
第九節　土藏に就いての吉凶……三九三
第一項　土藏を建てるに吉相なる部位……三九四
第二項　土藏を建てるに凶相なる部位……三九四
第十節　神棚及佛檀のこと……三九四
第十一節　納屋を設くるに吉凶なる部位……三九六
第十二節　その他の雜事……三九七

第十編　骨相秘傳

序說……四〇一
第一章　愛情機關に屬する部位の說明……四〇四

第一節　色慾部位の說明……四〇四
第二節　愛兒部位の說明……四〇五
第三節　配偶部位の說明……四〇五
第四節　友愛部位の說明……四〇六
第五節　血族部位の說明……四〇七
第二章　自衛機關に屬する部位の說明……四〇七
第一節　生命部位の說明……四〇八
第二節　飲食部位の說明……四〇八
第三節　破壞部位の說明……四〇九
第四節　抵抗部位の說明……四一〇
第五節　秘密部位の說明……四一一
第六節　理財部位の說明……四一一
第七節　造構部位の說明……四一二
第三章　智力機關に屬する部位の說明……四一三

第四章　意力機關に屬する部位の説明……四一六
第一節　持續部位の説明……四一六
第二節　警戒部位の説明……四一七
第三節　名譽部位の説明……四一八
第四節　自尊部位の説明……四一八
第五節　强硬部位の説明……四一九
第五章　推理直覺機關に屬する部位の説明……四二〇
第一節　推因及び比較部位の説明……四二〇
第二節　調和部位の説明……四二一
第三節　鑑識部位の説明……四二一
第六章　審美機關に屬する部位の説明……四二二
第一節　美麗部位の説明……四二三
第二節　宏大部位の説明……四二三
第三節　模擬部位の説明……四二三

第四節　諧謔部位の説明……四二四
第七章　道德宗教機關に屬する部位の説明……四二五
第一節　正義部位の説明……四二五
第二節　仁惠部位の説明……四二六
第三節　希望部位の説明……四二六
第四節　靈妙部位の説明……四二七
第五節　尊崇部位の説明……四二七

第十一編　人相秘傳

序説……四二九
第一章　容姿より見たる人の運勢……四三〇
第二章　音聲より見たる人の運勢……四三一
第三章　顏の形より見たる人の運勢……四三四

第四章　眼より見たる人の運勢……四三六
第五章　鼻より見たる人の運勢……四三八
第六章　口より見たる人の運勢……四四〇
第七章　眉より見たる人の運勢……四四二
第八章　耳より見たる人の運勢……四四四
第九章　額及び顎より見たる人の運勢……四四六

第十二編　手相秘傳

序　説……四四九
第一章　手相に於ける主要線の説明……四五〇
第一節　感情線に就いての説明……四五一
第二節　智能線に就いての説明……四五四
第三節　生命線に就いての説明……四五七
第四節　運命線に就いての説明……四五九
第二章　手相八宮の説明……四六〇
乾宮及兌宮……四六〇　離宮、震宮、巽宮、坎宮、艮宮……四六一　坤宮……四六二
第三章　手の形狀と運勢との關係……四六二
第一節　原始的の手……四六三
第二節　學者的の手……四六四
第三節　活動家の手……四六五
第四節　實際家の手……四六六
第五節　技術家の手……四六七
第六節　理想家の手……四六八
第七節　複雜なる手……四六九
第四章　指紋と運勢との關係……四七〇
天幸紋……四七〇　親幸紋、寵偶紋、瓶陰紋、性急紋……四七一
大過紋、後榮紋……四七二　人和紋、離合紋、旅意紋……四七三

三鼎紋、照滿紋、殘花紋……四七四
風地紋、咸通紋、散解紋……四七六
集遲紋、正位紋、常守紋……四七八
重修紋、威德紋……四八〇
小過紋、二連紋、雷鳴紋……四七五
溺水紋、北星紋、萬愼紋……四七七
枯木紋、執劍紋、濟喜紋……四七九
地生紋、暢私紋……四八一

第十三編　名前の附け方秘傳

第一章　姓名と運勢との關係……四八五
第二章　姓名學の沿革……四八六
第三章　姓名の意義及び文字の選擇……四九七
第一節　姓名は時代に適應して附すべきである……五〇〇
第二節　卑俗野鄙に陷らざることである……五〇一
第三節　奇嬌に流れざることである……五〇一
第四節　姓と名とはなるべく意味の通るやうに配合して附けるべきである……五〇二
第五節　父祖の名に因みて附けること……五〇二
第四章　姓名と易卦との配合……五〇三
第一節　姓名易卦に配合する方法……五〇三
第二節　物の名前を易卦に配合する方法……五一〇
第三節　姓名又は物の名前を易卦に配合する場合に於ける字畫字の取方……五一三
第四節　六十四卦吉凶の說明……五一四
第五章　字畫數による姓名の吉凶……五三五
第六章　文字の陰陽配置による姓名の吉凶……五五一
第七章　五氣配合による姓名の吉凶……五五七
第一節　各文字の五氣の定め方……五五五
第二節　五氣配合の吉凶分類……五五九
第三節　五氣の配合と姓名の吉凶に關する予の見解……五六二
第八章　天地の配合による姓名の吉凶……五六四
第九章　綜合的に見たる吉名選定法……五六七

第十章　姓名による運勢判斷……五七〇
第十一章　選名辭典……五八五
一畫……五八五　二畫……五八五　三畫……五八五
四畫……五八六　五畫……五八八　六畫……五九〇
七畫……五九二　八畫……五九五　九畫……五九八
十畫……六〇一　十一畫……六〇五　十二畫……六〇八
十三畫……六一一　十四畫……六一四　十五畫……六一七
十六畫……六一九　十七畫……六二一　十八畫……六二二
十九畫……六二三　二十畫……六二四　二十一畫……六二四
二十二畫……六二五　二十三畫……六二五　二十四畫……六二五
二十五畫……六二六　二十六畫……六二六　二十七畫……六二六

獨り占ひ秘法目次終

總說

運勢開發法秘傳

人間の運命を支配する原則は二つあると考へる。その一つは先天的遺傳の法則であつて、他の一つは宇宙間の萬物を支配する週期律的な消長の法則である。前者の先天的遺傳の法則と云ふのは、人間が今日の存在迄に達したのは、無限な時の流れの集積であつて、一朝一夕に出來上つたものではない從つてその間に幾億萬年とも知れない間の系統と組織とを經て來て居るのである。而して人間全體の組織が然るが如く、各個人に於いても今日の我れと云ふものが生れ出づる迄には、遠い祖先からの遺傳が傳り傳つて今日一個の存在として生れ出でたのである。故にその遺傳の法則による結果として、萬人一樣の存在ではなくして、外觀即ち形態に於いても、內實即ち精神に於いても、萬種萬樣の姿を現して居るのであつて、外觀の優美なるものもあり、媿惡なるものもあり、大なるものもあり、小なるものもあり、又强健なるものもあり、虛弱なるものもあり、內實に於いても、優秀なる精神の持主もあり、劣等なる精神の持主もあるのであつて、その結果として激烈なる生存競爭の社會に立つて

先天的に優勝者たる素質を備へて居るものと、先天的に劣敗者の地位に立たねばならぬものとあることは免れない事實であつて、これは人力を以て如何ともすることの出來ない宿命なのである。次に、第二の週期律的な消長の法則と云ふのは、宇宙に存在するありと凡ゆるものは、一定の週期律的の流れによつて支配されて居るものであつて、一、二の例を擧げて見れば、晝夜の區別も永久不變の週期律的な運行であり、その他、潮の干滿、地震の襲來、景氣不景氣の循環、季節の變化、人體の脈搏呼吸等擧げ來れば限りないのであつて、宇宙間に於ける萬物でこの法則に支配されて居らないものはないのである。而して人間の運勢の盛衰消長も亦この法則を脱する譯には行かないのであつて、盛運期が續けば次に衰運期が來り、又轉換して盛運期が來ると云ふやうに、盛運期と衰運期とが交互に轉換して進んで行くものである。彼の「人間萬事塞翁が馬」と云ふ諺は、この眞理を道破したる至言と云ふべきである。古來人間の運命を占ふ術として色々と研究されて居る學術は、凡てこの二法則を基礎として研究せられて居るのであつて、人相、骨相等も遺傳の法則が基礎となつて居るのであり、九星、干支學等の說く所は週期律的な消長の法則を人間の運勢に當嵌めて說いたのである。

以上に說明したる如く、人間の運命は先天的遺傳の法則と週期律的な消長の法則とに支配されて居るものとすれば、人間の運命は決定的なものであつて、彼の昔伊太利に於いて人間の萬事を「キスメット(運命)と云ふ一言に盡きるとなして、自暴自棄の態度を取つたことがあるやうに、人間の運命と云ふものは人力ではどうすることも出來ないものであると云ふ風に、厭生的、悲觀的のものになつてしまふのであるが、予は人間の運命と云ふものを、さう云ふ風に厭生的、悲觀的なものとは考へないのである。勿論先天的遺傳の法則は決定的のものであつて、これは人力を以て如何ともすることの出來ないものであるが、その先天的遺傳の法則によつて與へられた各人の天賦の能力と云ふものは、後天的の修養と努力とによつてこれを發揮し且發展せしめ得るものであつて、運勢開發の秘傳は、この天賦の能力を如何にして發揮し且發展せしめるかと云ふ點に存すると考へるのである。例へば、玆に米と麥との種子があるとすれば、米の種子は米としての本質を備へ、麥の種子は麥としての本質を備へて居つて、如何に科學の力を以てしても、又は人間の努力を以てしても、米の種子から麥を作出し麥の種子から米を作出すことは出來ないことであるが、米又は麥の種子を地中に蒔いて、これを成育せしめてその收獲を得る迄の道程に於いては、科學力の應用とか人間の手入れ如何によつて、その收獲の結果に於いて非常な差違を生じて來るものである。即ち如何に米の種子の本質が麥に勝つて居るからと云つても、これを蒔いた切で何の手入れもせずして自然の儘に捨てゝ置いたならば、優秀なる結實を得ることが出來ない計りでなく、收獲皆無の場合もあるのであつて、本質に於いては劣つて居

ても、丹精を籠め手入れを盡して成育せしめた麥の種子の方が、結果に於いて優良なる成績を擧げ得ると同じく、人間に於いても、天賦の能力が如何に優れて居ても、後天的に修養と努力とを以てこれを磨き上げなかつたならば、劣等なる能力に生みつけられたものが、修養と努力とを以て磨き上げた場合に比較して遲れを取るに至ることは明かなことである。又第二の週期律的な消長と云ふ法則に於いては、先天的遺傳の法則の場合よりも一層運命を切開いて行くことは容易であつて、その運勢の週期律的な運行を豫知して、その消長に乘じて進退方針を考へて進んだならば、幸運を掴み成功を克ち得る點に於いて、この運勢の消長を考へずして進んだものに比してどれだけの効果が擧るかと云ふことは、說明する必要のない明白のことである。予が運勢開發法の秘傳と稱する所は、この先天的遺傳によつて與へられた各人の宿命である天賦の能力を自覺して、これを後天的の修養と努力とによつて如何に發展して行くかと云ふことゝ、もう一つは運勢の週期律的な消長を豫知して、これに乘じて適宜に進退方針を取つて運勢を切開いて行くと云ふ點とにあるのである。然らば如何にして自己の先天的に與へられた天賦の能力を悟り、又如何にして週期律的な運勢の消長を豫知するかと云ふに、それは本著第一篇より第十二篇に亘つて予が說明する所の、各章の秘傳を熟讀含味せられたならば、自らこれを會得することが出來、從つて自己の運勢を開發して行く方法をも會得することが出來る。

第一編　易學秘傳

第一章　六十四卦圖解

易には六十四通りの成卦がありますが、これは、乾☰、兌☱、離☲、震☳、巽☴、坎☵、艮☶、坤☷の八卦が、二つゞゝ上卦と下卦とに組合されて出來るものでありまして、例へば乾の卦が下に來り坤の卦が上に來れば地天泰䷊の成卦となり、反對に坤の卦が下に來り乾の卦が上に來れば天地否䷋の成卦となると云ふ樣な譯であります。此六十四通りの成卦を圖解すれば次の如くであります。

上卦＼下卦	乾	坤	坎	震
乾	䷀（乾爲天）	䷁（坤爲地）	䷅（水雷屯）	
坤				
坎				
震				

上卦＼下卦	艮	坎	乾	坎
艮		䷃（山水蒙）	䷈（水天需）	䷅（天水訟）
坎				
乾				
坎				

坤坎 (地水師)
坎坤 (水地比)
巽乾 (風天小畜)
乾兌 (天澤履)
坤乾 (地天泰)
乾坤 (天地否)
乾離 (天火同人)
離乾 (火天大有)
坤艮 (地山謙)

震坤 (雷地豫)
兌震 (澤雷隨)
艮巽 (山風蠱)
坤兌 (地澤臨)
巽坤 (風地觀)
離震 (火雷噬嗑)
艮離 (山火賁)
艮坤 (山地剝)
坤震 (地雷復)

乾震 (天雷旡妄)
艮乾 (山天大畜)
艮震 (山雷頤)
兌巽 (澤風大過)
坎坎 (坎爲水)
離離 (離爲火)
兌艮 (澤山咸)
震巽 (雷風恒)
乾艮 (天山遯)

震乾 (雷天大壯)
離坤 (火地晉)
坤離 (地火明夷)
巽離 (風火家人)
離兌 (火澤睽)
坎艮 (水山蹇)
震坎 (雷水解)
艮兌 (山澤損)
巽震 (風雷益)

兌乾（澤天夬）
乾巽（天風垢）
兌坤（澤地萃）
坤巽（地風升）
兌坎（澤水困）
坎巽（水風井）
兌離（澤火革）
離巽（火風鼎）
震震（震爲雷）

艮艮（艮爲山）
巽艮（風山漸）
震兌（雷澤歸妹）
震離（雷火豊）
離艮（火山旅）
巽巽（巽爲風）
兌兌（兌爲澤）
巽坎（風水渙）
坎兌（水澤節）

巽兌（風澤中孚）
震艮（雷山小過）

坎離（水火既濟）
離坎（火水未濟）

第二章　占ひ法の説明

先づ姿勢正しく坐り、それから算木を取つて左の圖（地天泰）の卦の如き順序に目前に列べます。

上卦（坤）下卦（乾）

地天泰

次に五十本の筮竹を取り、數を調べた上でこれを目八分に捧げ、心を清淨にし、目を閉ぢ、口を固く結び、心を丹田（下腹の事）に納め、息を凝して自分の占ひたいと願ふことに一心を籠めて神を念じ、自分の望み事以外の一切の雜念を去つて所謂無我の境に入ります。そして先づ五十本の筮竹の中から一本を取つて傍に置き、次に殘りの四十九本を再び目八分に捧げ、前の如く一心を籠めて無我

の境に入つた切那に左右へ二つに別けます。そして右の手に殘つた方を前に据へ、その中から一本を取つて左の手に殘つた分へ加へます。そしてその左の手に持つた筮竹を、二本づゝ四度、四度と即ち八本づゝ數へて段々と取除きます。さうすると最後に殘りが一本から八本迄の數になります。そこでその殘つた數によつて卦を得るのであります。則ち

一本殘れば乾☰の卦　二本殘れば兌☱の卦
三本殘れば離☲の卦　四本殘れば震☳の卦
五本殘れば巽☴の卦　六本殘れば坎☵の卦
七本殘れば艮☶の卦　八本殘れば坤☷の卦

を得たことになるのであります。

そこで初めに得た卦は下卦でありますから、最初に目前に据へて置いた算木（乃ち地天泰の卦）の下卦を今得た卦に置換へます。例へば八本殘つたとすれば坤の卦を得た譯ですから、下卦の乾☰を坤☷に置換へるのであります。これで下卦を得ましたから今度は上卦を立てるのでありますが、偖上卦を立てる時に注意すべきことは、一番最初に取除いた一本は神靈を倚らしめたものですから、卦を立て終る迄は決して動かしてはならないことであります。それで最初に取除いた一本は其儘にして置いて、殘りの四十九本を再び手に取つて目八分に捧げ、誠心誠意を籠めて前に下卦を立てた時と全く同一の方法によつて上卦を得るのであります。そこでかやうに下卦を立てると同一の方法によつて終りに今度は二本殘るとすれば、兌の卦を得た譯ですから、最初に目前に据へて置いた算木の上卦の坤☷を兌☱に置換へるのであります。これで上卦下卦共に得られたのでありまして、茲に易は上下二段に重なつて始めて完全に左の圖の如く澤地萃の成卦を得たのであります。

上卦（兌）下卦（坤）

☱☷　澤地　萃

斯樣にして澤地萃の成卦を得ましたならば、六十四卦圖解によつて澤地萃の成卦の占斷の說明してある頁を開き、初めに自分の占ひたいと望んで居た事柄に就いて占斷を得るのであります。

偖以上の說明をお讀みになつたゞけでは、一寸込入つて居つてお解り憎いかも知れませんから、次に一二の實例に就いて說明致しますから、此說明の所と實例とを照合せてお考へになれば直に了解が出來ます。

占ひ法の實例

實例の一、　占ひの目的……願望

先づ算木を目前に地天泰☷☰の象に列べ、次に五十本の筮竹を取つて數を改めます。それから一心を籠めて神を念じ、その中の一本を取除きます。此一本は上卦下卦を得て易を立て終る迄傍へ取除いて置いて決して動かしてはなりません。次に殘りの四十九本を兩手にて目八分に捧げ、占ひたいと望んで居ることに一心を籠めて、無我の境に入つた切那に左右の手へ二つに分けます。そこで分けた時に、右の手に二十六本、左の手に二十三本殘つたとします。次に此右の手に殘つた二十六本の中から一本だけ取つて、左の手に殘つた二十三本の中へ加へます。さうすると左の手にある筮竹の數は二十四本になる譯です。此左の手の二十四本を二本づゝ四度、即ち八本づゝ取除きます。すると八本づつ三度取除くことが出來て殘りがないことになりますが、これは八本づゝ二度取除けて八本殘つたことになります。即ち坤☷の卦を得た譯です。それで最初に目前に列べて置いた算木（地天泰の卦）の下卦乾☰を坤☷に置換へるのです。これで下卦を得ましたから今度は上卦を立てるのですが、これは下卦を得た時と同じ方法で四十九本を兩分します（此際前にも注意して置いた通り最初に取除いた一本は加へないのです。）そこで今度は右の手に十五本、左の手に三十四本殘つたとします。又前と同じく右の手の十五本の中から一本を取つて、左の手の三十四本に加へます。そうすると左の手の筮竹の數は三十五本になつて、二本づゝ四度、即ち八本づゝ取除けば、四度取除けられて三本殘ることになります。即ち離☲の卦を得た譯ですから、上卦の坤☷を離☲に置換へます。これで上卦下卦共に得ることが出來て完全に易が立てられ、左の圖の如く火地晉の成卦を得たのであります。

上卦（離）下卦（坤）

☲☷

火地晉

そこで頁を繰つて火地晉の卦の占斷の所を見ますと、願望に就いて左の如く占斷してあります。

願望　調ふ。目上の人に依賴せば便宜を得べし。

これであなたの最初の目的であつた願望に就いての占斷が得られた譯です。

占ひ法の實例

實例の二　占ひの目的……金談

實例一の所で說明したる通り、算木を地天泰の象に列べ、五十本の筮竹を取り、精神の統一を行ひ

その中の一本を取除きて傍に置き、殘りの四十九本を左右の兩手に二分します。その結果右の手に二十五本、左の手に二十四本殘つたとします。次に此右の手に殘つた二十五本の中から一本を取つて左の手に殘つた二十四本の中に加へます。そうすると左の手の筮竹の數は合せて二十五本になります

そこでこれを二本づゝ四度、即ち八本づゝ取除きます。すると八本づゝ三度取除けて後に一本殘ることになります。即ち乾☰の卦を得た譯ですから、最初に列べて置いた地天泰の卦の下卦を置換へる筈なのですが、これは初めから乾の卦で同一ですからその儘で置換へる必要がありません。次に再び四十九本を手にして左右の手に兩分します。今度は右の手に二十七本、左の手に二十二本殘つたとします。又前と同じく右の手の二十七本の中から一本を取つて。左の手の二十二本の中へ加へます。さうすると左の手の筮竹の數は合せて二十三本となり、これを八本づゝ取除きますと、二度取除けて後に七本殘ることになります。即ち艮☶の卦を得た譯ですから、地天泰の上卦の坤☷の卦を艮☶に置換へます。これで易を立て終つた譯で、左の圖の如く山天大畜の成卦を得たことになります。

上卦(艮)下卦(乾)

☶☰　山天大畜

そこで六十四卦圖解の所によつて頁を繰り、山天大畜の卦の說明の所を見ますと、最初に占斷しやうと思つた金談の件に就いて左の通り說明してあります。

金談　一時行惱む象あるも努力せば調ふ。

右の占斷を得て望みは達せられた譯です。これで占ひ法の說明を終りましたが、茲に特に注意して置きますことは、占ひの當る當らないは、易を立てる時に心に一點の邪念を持たず、誠心誠意を籠めて行ふことでありまして、これが唯一の秘訣でありまして、これなくして易斷の的中を望むことは出來ないのですから、よく〳〵心得て置いて頂きたいのであります。そしてこのことは單に易を立てる時計りに、邪心を藏せず無我の境に入らうとしても望み難いことですから、平常から精神の修養を積み、邪念妄想を持たないやうに心掛けることが肝要であります。

第三章　六十四卦の說明と占斷

☰☰　乾下乾上　乾爲天

乾とは天に象つた卦で、公明正大、一點の私情邪心なく、至純至健の義を現して居るのであるが、その理由は、此卦六爻共皆陽にして、天の陽氣が積み累なり滿ち盈ちたる象であり、又陽の德たるや至健至剛にして公明正大、天地の運行して瞬時も止まざる象があるからである。從つてこれを人に取れば、天子、聖賢、英傑、夫等の象となすのである。

占斷

一代の運勢、　名を擧げ功を遂ぐる盛大なる運勢の生れなるも、壯年時代に天分に誇りて破れを招き又は晩年に至りて慢心油斷を生じて終りを全うせざる憂ひがあるから愼しみを要する。女子は特に剛情勝氣に過ぎ溫和の心を缺きて運氣を損ずる傾きあれば愼しみが肝要である。

現在の運勢、　盛運目前に近づける象あるも、兎角功を急ぎて運氣を取逃す惧れあれば、自重して時を待つことが肝要である。尙、知慮慢心の過ち、分外に走りての災ひ、女難、目下の苦情等に注意願望　調ふ望みあるも遲る。急ぐ時は破るゝ憂ひあり。尙成就の後慢心に流れざること肝要なり。

金談　希望通りには運ばざるも努力次第にて絕望にあらず。女の力を借りて利あり。

賣買　賣りて利あり。然し勢ひに乘過ぎず八分目の所にて見切ること肝要なり。

相場　目先上りて後暴落の象あり。

緣談　中途にて紛紜の起る憂ひあり。初めに細心の注意肝要なり。而して女子には良緣なるも男子には良緣ならず、一代を通じては男子は賢夫人を得て內助の功を得るも氣性烈しき爲に苦しむ象あり。女子は器量優れたる夫に添ふ運勢あり。

待人　遲るゝ象あるも來る。催促するは不利なり。氣長に待つべし。

戀愛　男子は成立の望みあるも將來辛勞の基となる憂ひあれば注意を要す。女子は成立の望みなし

開業　將來發展の望みあるも、開業當時は豫想外に困難多き象あれば、開業を急がず充分準備を整へ遠大の計畫を以て始むべし。

轉業　時期不利なり。暫く時を待つべし。然らば自然に好機會到來すべし。

就職　急に纏らず。然し自重して時を待たば有望の地位を得る望みあり。

旅立　時期凶。途中故障の憂ひあり。今少し延期するを吉とす。

移轉　時期を得ず。不利なり。暫く時を待つを吉とす。

訴訟　長引く。なるべくは示談を吉とす。然し爭ひを起したる上は强固に戰ふべし。

縺れ事　公明正大の態度にて進むべし。然らば長引く象あるも有利の解決を得べし。

病氣　重症にて長引くも養生屆かば全快の望みあり。特に快方に向ひたる所にて油斷せざること肝

要なり。肺、腦病、神經系統の病多し。

壽命　強健長壽なり。然し強健を誇り無理をして天壽を保たざる憂ひあれば注意。

子寶　男多く女少なし。而して男は強健優秀にして將來有望なるも、教育を誤る時は不良兒となる憂ひあれば注意。女を得たる時は親に辛勞を掛けること多し。

試驗　好成績を得べし。然し慢心の爲に勉強を怠るに至る象あれば戒むべし。

失物　出で難し。或は物の下積みとなり居りて時を經て出づることあり。方角西北。

走人　遠方に走る象あり。機敏に手配りして尋ぬること肝要なり。方角西又は西北。

天候　晴天續くべし。

方位吉凶、　吉方西及西北。凶方南及西南。

䷁　坤下坤上　坤爲地

此卦は乾を天に象れるに對し、地に象つた卦であるが、その理由は、此卦六爻共に皆陰であつてその德至順至柔にして、恰も地が萬物を包載して、よくこれを生長せしむるが如き象があるからである

從つてこれを人に取れば、臣、庶民、母、妻、弟子等の象となすのである。

占斷

一代の運勢、　一生を通じて花々しい象はないが、その代りに平穩にして波瀾浮沈少なく、漸々に開け行く運勢である。故に此運勢に逆つて急激に流れ又は大望を抱きて、分を忘れる樣なことのない樣に心掛けることが肝要である。

現在の運勢、　急進妄動に流れて運氣を亂し、身を破るに至る憂ひがあるから、萬事平穩堅實を旨とし、時期を待ちて漸進することが肝要である。尙、目上に從ひて吉、共同事有利、德を缺き我意に走りての災ひ、迷事等の象がある。

願望　急には成就せず。迷はず勇氣を失はずして氣長に努力せば遂には成就すべし。

金談　當事外れがちの象なり、焦燥らず暫く時を待つべし。

賣買　利を焦燥りて失敗の象あり。落着いて形勢を眺め徐々に進むべし。

相場　目先弱持合ひて後下放れ、其後好調に轉ずべし。

緣談　氣長に進まば纏る。男子には吉なるも、女子には末の見込なき故見合せたる方吉なり。一代を通じては男女共に大體平穩無事なるも、我意に流れて不和を來す憂ひあれば互に慎むべし。

待人　來り難し。若し來るも結果は凶なり。

戀愛　女子は成就するも、男子は相手が内氣故困難なれば温和に氣長に進むこと肝要なり。

開業　時期不利なり。見合せて時を待つを吉とす。然し共同事業ならば進みて宜し。

轉業　絶對に凶、固く現狀を守りて時を待つべし。

就職　急に望み難し。目上に依賴して氣長に時節を待たば望みを達すべし。

旅立　今出づるも功なし。暫く時を待ちて出づる方有利なり。

移轉　轉ずるは凶、現狀を守るべし。

訴訟　爭ふは不利なり。人の意見に從ひ温和に和解するを吉とす。

縺れ事　道を失ひ利慾に走る爲に不利に陷る象あり。宜しく反省して正しきに返り、人に任せて解決を計るべし。

病氣　見かけよりも重し。慢性になる憂ひあり。安靜氣長に養生すること肝要なり。内臟特に消化器の病多し。

壽命　見かけよりも案外長壽を得べし。五十歲前後に注意を要す。

子寶　多し。女兒は將來有望なるも、男兒は弱きか内氣に過ぐる象あれば養育上注意を要す。

試驗　成績思はしからず。一層勉强を要す。

失物　何かの中に紛れ込めるか入れ忘れたるなり。早く尋ねざれば出で難し。

走人　案外近くに隱れ居るべし。心當りの婦人に就きて尋ぬべし。方角西南又は西北。

天候　曇りがちにて多少雨模樣あり。

方位吉凶　吉方南及西南、凶方北及西北。

䷧ 震下坎上　水雷屯

屯とは難むの義であるが、唯單に困しみ難むの意味ではなく、未來に希望あるも今險難の中にあり て達せられざる難みである。これを例ふれば、草木の種子が始めて地を破りて萠芽を發し、風雨の難に逢ひて伸惱む象である。而して此卦を屯と名づけたる所以は上卦の坎を陷るとなし下卦の震を動くとなす。即ち動かんと欲するも陷難に遇ひて動く能はずして惱む意味があるからである。

占斷

一代の運勢、　恰も樹木の生育するが如き運勢で、少青年時代は辛勞困難多きも、壯年晩年と末にな

る程盛運幸福に向ふものである。故に功を急がず、末を樂しみにして、困難と戰ひ忍耐努力を第一として進むべきである。

現在の運勢、　辛勞困難多く物事意の如く運ばざる時なるも、忍耐して時を待てば自然に運氣開け來る望みがある。尙、目上に從ひて吉、目下を用ひての利益、性急よりの失敗、賣買不景氣、旅立不利、病難等の象がある。

願望　急に達せず、忍耐して時を待つべし。

金談　當にせるよりも長引く。而して多額は調はず。

賣買　賣買共に不景氣にて順調に運ばず。手控へて時節を待つべし。

相場　下る。恢復遲し。

緣談　話縺れて長引く。成否共に仲人の選定如何による。一生を通じては初めは苦勞あるも夫婦共に忍耐せば末は幸福を得べし。

待人　急には來らず。時を經て便りあるか來るべし。

戀愛　成否共に一に根氣次第による。

開業　開業當時は意に任せずして困難多きも、忍耐努力して時を待たば成功を見るに至るべし。

轉業　今暫く辛抱せば發展成功の望み生ずべきを以て、迷はずして現狀を維持すべし。

就職　急には望みなし。目上の人に依賴して時を待たば希望を達すべし。

旅立　出でゝ功なく故障困難に逢ふ憂ひあり。

移轉　動くは不可、現狀を守るべし。

訴訟　事件紛糾して長引くべし。强固に爭はゞ勝訴の望みあるも、和解する方有利なり。

縺れ事　性急に走り益縺れを見る象あり。氣長に解決する心掛け大切なり。

病氣　なか〳〵重症なり。油斷すべからず。然し氣長に充分養生せば追々全快に向ふ望みあり。

壽命　體質弱く青年頃迄は危險あるも、攝生に努め健康を計らば、壯年より體質一變して思ひの外長壽を保つべし。

子寶　子供多く末は幸福を得べきも、育て上ぐる迄は辛勞困難多き象あり。

試驗　成績進步の象あるも豫想の如くには良好ならず。

失物　家內にあり。何かの下になれる象あり。東より北へかけての方角を尋ぬべし。

走人　遠方へ走る象あるも、手配り早からば途中にて取押へ得べし。方角東北。

天候　曇りがちにて後晴る。但し一時雨又は雪となりて後晴るゝことあり。

方位吉凶、　吉方北及東。凶方南及東南。

䷃　坎下艮上　山水蒙

蒙とは蒙昧にして事理を辨せざる義である。此卦、上卦は艮、下卦は坎、坎を水となし艮を山となす。即ち山下に水ある象で、水氣蒸發して霧となり、天地昏くして山を見る能はざる象であり、又、坎水流れて艮山に遇ひ、流れ行くべき方向に迷ふの象で、共に蒙の義である。故に此卦を名づけて蒙と稱するのである。

占斷

一代の運勢、　中年頃迄は辛勞困難多く特に幼少年時代は不過の象があり、逆運にして迷ひがちになり身上定らざる象あるも、誠實を以て奮闘すれば中年より運氣開け、目上の引立ありて晩年程幸福を得るものである。

現在の運勢、　迷ひ多く意に任せざる象があり、妄動に流れて運氣を破る時であるから、誠實忍耐を守り人の意見に從ひて時を待つべきである。然らば自然に開運の時節到來するものである。尙、交際上の過ち、決斷を缺きての失敗、諸事整理上の故障、文書契約の間違ひ等に注意を要する。

願望　成就の望み少なし。無理をせば却つて不利なり。目上に賴りて時を待つべし。

金談　急に調はずして費用倒れに終るべし。暫く時節を待つべし。

賣買　時期惡しく焦燥るは不利なり。賣買共に時節を待つべし。迷ひて損失の象あり。

相場　目先安く暫くして後上る。

緣談　先方迷へる象なり。纏り難し。一生を通じては男子は妻緣變る象あり。女子は選好みをして婚期を失するか、不遇の夫に添ふ象あり。

待人　先方の心に迷ひあるか、意外の故障を生じて來らず。

戀愛　相互の心に誠實を缺く爲に成立望み難し。現在關係ある戀は思切たる方末の爲に吉。

開業　時期を得ず見合せたる方吉。但し二三年辛抱する心ならば始めても良し。

轉業　轉ずるも永續せず。現狀を守りて忍耐努力すべし。

就職　急に望みなし、目上の人に依賴して時を待つべし。

旅立　豫定より長引く象あり。又旅先より急に歸宅を要する事件を生ずる象あり。

移轉　轉ずるも落着かず。現狀を守る方吉。

訴訟　長引く。理あるも破るゝ象あり。人を入れて示談したる方有利なり。

縺れ事　疑ひ迷ふて決斷を缺く爲に容易に解決せざる象あり。一切人に任すべし。

病氣　長引く。現在の所にては目當つかず。治不治共に今後の養生次第なり。

壽命　幼少年時代は病弱なるも、身體を鍛錬せば相當長壽を保ち得べし。

子寶　子供多き方なるも、教育惡しき爲に將來を過たしむる憂ひあれば注意。

試驗　成績不良なり。大いに勉强を要す。又問題の意味を取違へる憂ひあれば注意。

失物　置忘れたるなり。氣長に尋ぬべし。方角東北又は南。

走人　急に歸る望みなし。氣長に便りを待つべし。

天候　曇天續く。

方位吉凶、　吉方東北及北、凶方西及南

水天需

乾下坎上

需とは待つと云ふ義である。此卦、坎を上にし乾を下にする。即ち乾は剛健にして動き進まんと欲するも、坎の險難前にありてこれを阻むるが爲に、進む能はずして時節の到來を待つ象であり、又、坎は雲の象、乾は天の象で、雲天上にあるも未だ雨とならず、萬人滋雨の至るを待つの象である。故に此卦を名づけて需と稱するのである。

占斷

一代の運勢、　晩運の方で、中年頃迄は故障困難多く辛勞を免れざるも、萬事功を急がず忍耐努力して徐々に運氣の開發を計れば、必ず中年後運氣開けて晩年に至れば功を遂げ幸福を得るものである

現在の運勢、　功を急がず、忍耐努力を第一として氣長に進めば、自然に運氣開け來りて順調の運びを見るに至るものである。尙、目先の利に迷ひての失敗、酒色の過ち、物事の澁滯、頭部の病氣、爭事に注意。

願望　氣長に努力せば成就の望みあるも、急ぐ時は破る。

金談　誠實を以て氣長に運ばゞ調ふ望みあり。

賣買　目先の利を得んとして焦燥らば損失を招くべし。暫く形勢を眺め徐々に進むべし。

相場　目先持合ひて後に上るべし。

緣談　良緣なるも容易に纏り難し。氣長に運ぶこと最も肝要なり。一生を通じては末になる程幸福

を見る良緣を得べきも、男女共に緣の定ること遲き象あり。

待人　來る。然し先方に故障ありて遲るべし。

戀愛　感情に走り成立を急ぎて成功すべきものを破る憂ひあれば注意すべし。

開業　時期にあらず。暫く時を待たば好期到來すべし。

轉業　轉じて却つて不利に陷るべし。忍耐して現狀を守るを吉とす。

就職　氣長に時を待たば有望の地位を得べし。急ぐ時は不利を招く。

旅立　今暫く見合せて後に出づる方吉。

移轉　現狀を守りて動かざる方吉なり。

訴訟　結局は勝利を得べきも長引く。

縺れ事　解決を急ぐ時は益紛糾して不利を見るべし。氣長に自然の解決を待つべし。

病氣　長引く。神經を起して經過を不良ならしむる象あり。病氣を苦にせず暢氣に養生すること大切なり。病症、頭部の病、食傷。

壽命　長壽の生れなるも、不攝生より天壽を全うせざる象あり。特に酒、色、食に注意。

子寶　多き方なるも得ること遲きことあり。敎育に力を盡さば將來大いに有望なり。

試驗　好成績なるも自惚れたる程にはあらず。

失物　物品ならば時を經て出づる望みあるも、金錢は出で難し。

走人　急に歸らず。遠方へ走れる象あり。自然に任せて心配なし。

天候　曇天續きて雨となり、後晴る。

方位吉凶、　吉方北及西北、凶方南及西南。

坎下 乾上　天水訟

訟とは兩者物事の是非曲直を爭ひ、その裁決を上に仰ぐ義である。此卦上卦は乾にして下卦は坎乾の性は陽にして上り、坎の性は陰にして下り、その性相反して進むべき方向を異にし、相交ることなき象であり、又乾は剛にして下を制し、坎は險にして上を謀り、彼我相背き相逆ふ象である。故に此卦を名づけて訟と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　身上に波瀾多く、浮沈盛衰定らざる象があるから、短慮を慎しみ分外に走らず、萬事

堅實温和の心掛けを守ることが肝要である。特に二十代と四十代を注意。

現在の運勢、　衰運の時で物事に故障齟齬多き象あれば、我意を慎しみ萬事控目を守ることが肝要である。尚、爭事、人の中傷、奸計に陷る象、小事より大事を招く象等あれば注意。

願望　齟齬して調はず、諦むる方有利なり。

金談　手違ひ多く結局調はず。

賣買　損失に終るべし。進むは凶。特に見込違ひ取引上の故障を招く象あり。

相場　波瀾の象あるも今安くして後高し。

緣談　惡緣にして終りを遂げ難し。見合すべし。又纏り難し。一生を通じては緣薄き生れにて和合を得ず度々緣の變る憂ひあり。

待人　來らず。

戀愛　成功の望みなし。若し成功するとも永續せず。思切る方幸福なり。

開業　時期を得ずして失敗に歸すべし。思止まる方吉なり。

轉業　運氣上變動を免れざるべし。然し變動後も安定困難なれば出來得る限り現狀を守るべし。

就職　焦燥るとも望みなし。時節を待つべし。

旅立　旅先にて故障災難に逢ふ憂ひあり。見合す方吉。

移轉　事情己むを得ざる象なるも、なるべくは現狀を守るを吉とす。

訴訟　理あるも破るゝ象あり。爭ふは不利、和解するを利とす。

縺れ事　益紛糾する象あり。長引く時は不利なり。なるべく早く温和に解決すべし。

病氣　病狀重く危險の憂ひあり。極力療養に手を盡すべし。血行不順の症あり。

壽命　短命の憂ひあり。攝生に力を盡すべし。

子寶　子供はあるも、短命又は親不孝の惧れあり。養育上特に注意肝要なり。

試驗　不成績なり。問題の意味を取違ふる象あれば注意肝要。

失物　出で難し。人手に渡れる象なり。

走人　非常に感情に激せる象ありて、生命危險の憂ひあり。一時も早く西より北へかけての方角を尋ぬべし。

天候　暴れ模樣にて天候險惡なり。

方位吉凶、　吉方西北及北、凶方南及西南。

地水師

坎下 坤上

師とは本來聚る意にして轉じて軍旅の義となる。此卦、上卦は坤にして地の象であり、下卦は坎にして水の象である。即ち水地中に聚る象であり、又全卦一陽を以て五陰に臨む。これ將帥兵を率ゐる象で軍旅の義である。故に此卦を名づけて師と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　中年迄は運氣波瀾がちに流れ危險困難に遭遇する象あるも、正道を守りて忍耐努力すれば、遂に困難を排除して中年後運氣開け、晩年には盛運幸福を得るに至るものである。

現在の運勢、　危險困難に處する象あるも、正道を守りて努力すれば、運氣開けて物事通達し、目的を遂げ得るものである。尙、人の意見を用ひず我意に走りての災害不利、住居の苦勞變動、爭事盜難等に注意。

願望　急に成就せず困難を免れざるも、勇氣を失はず忍耐努力せば遂に成就すべし。

金談　成立の望みあるも長引く。

賣買　取引上爭事を生ずる憂ひあり。此點を注意して進まば利を得べし。

相場　波瀾高下を示したる後下る。

緣談　縺るゝ象あるも仲人の働き次第にて纏るべし。一生を通じては相互の我儘より爭ひ絶えざる象あれば愼しむべし。

待人　遲るゝ象あるも來る。氣長に待つべし。

戀愛　熱情と眞實あらば成功すべし。急ぐは不可。

開業　開業當時は豫想外に困難を見る象あるも、勇氣と忍耐とを以て進まば遂に成功すべし。

轉業　自己の考へに任せて轉ずるは不可。目上及び經驗者に相談して決すべし。

就職　我儘より不成立に終る象あり。我儘を愼しみ穩に運ばゞ案外好地位を得べし。

旅立　短き旅は差支へなきも長旅は不可。

移轉　動かざるを吉とす。

訴訟　爭ひ避け難き象あり。急ぐは不可。氣長に進むべし。

縺れ事　行惱みて解決困難なるも、我意を愼しみ氣長に進まば都合よき解決を見るべし。

病氣　全快の望みあるも、無理をして失敗する憂ひあれば注意肝要なり。

壽命　長壽の生れなるも、無理をして重病に罹り、天壽を縮むる憂ひあれば注意すべし。

子寶　子供運は良き方なるも、男兒計りか女兒計りかに偏する象あり。

試驗　好成績なるも、慢心して將來の禍ひを招く惧れあれば注意。

失物　出で難し。盜難に罹れる象あり。

走人　當分不明なるも暫くして便りあるべし。方角西南又は西北。

天候　少し暴れて後晴る。

方位吉凶、　吉方西南及北。凶方西北及南

坤下
坎上　水地比

比とは親しむの義である。此卦上卦は坎にして水の象、下卦は坤にして地の象で、即ち水地上にあるの象である。それ水を地上へ洒げばよく和合して地中へ包容せられるもので、親しむ象であり、又卦體より見れば、九五の一陽上にありて五陰これに從ふは、聖天子上に君臨して萬民その恩澤に親しむ象である。これ此卦を名づけて比と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　人德があり平安な運勢の生れであるが、温和謙讓の德を忘れ、我意剛情に走りて運氣を破る惧れがあるから慎しみが肝要であり、特に中年より晩年へかけて注意を要する。尙、自主獨立して進むよりも、人と共同し又は人に使へる方針を採る方が、發展昇進を得るものである。

現在の運勢、　運氣平順にして吉兆を見る象あるも、我儘に流れ分外に走りて運氣を破る憂ひがあるから慎しむべきである。尙、共同事の成功、目上の助力引立、願望成就、緣談吉、旅立吉等の象あるも、短慮の過ち、機を失しての失敗等に注意を要する。

願望　調ふ。殊に目上に依賴して便宜を得る象あり。

金談　調ふ。親しき人に謀るべし。

賣買　賣買共に利を得べし。但し時機を逸し折角の利益を取逃す惧れあれば注意。

相場　漸落氣配を示すべし。

緣談　纏る。良緣にして吉。一代を通じては上々吉の運勢にして、性格一致し圓滿幸福の家庭を作り得べし。

待人　意外に早く吉報を齎らして來る。

戀愛　相思の仲にして成功疑ひなし。機を逸せざる樣早く話を運ぶべし。

開業　人の引立を得て成功すべし。迷はずして早く始むべし。然し良支配人を得ざる爲に不利を招く憂ひあれば注意を要す。

轉業　轉じて吉を得べし。

就職　目上に依賴せば好地位を得ること確實なり。

旅立　旅先にて開運の機會を得る象あり。早く出づべし。遲るゝ時は不利なり。

移轉　轉じて吉。早きを利とす。

訴訟　爭ふは絶對に不利なり。和解すべし。

縺れ事　都合よく平和に解決すべし。但し我意剛情に走らず人の意見に從ふこと肝要なり。

病氣　手遲れせざる樣早く養生すべし。然らば間もなく全快すべし。

壽命　七十歳迄位は確實なり。身體を大切にせば尙一層長壽を保ち得べし。

子寶　温良優秀にして親思ひの兒女多し。

試驗　好成績を得べし。

失物　手近の者に尋ぬれば出づべし。

走人　親しく交際せる人に就きて尋ぬれば間もなく分明すべし。

天候　晴天なるも後に小雨を見ることあり。

方位吉凶　吉方北及西南、凶方南及西北。

䷈　乾下巽上　風天小畜

畜とは畜積又は畜止の義であるが、此卦、上卦は巽、下卦は乾であつて、乾は陽剛にして進まんと欲するも、巽は陰柔にしてこれを止むる象であり、又全卦より見れば、九五が一陰を以て他の五陽を止める象であつて、皆止め畜むることの小なる義である。故に此卦を名づけて小畜と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、晩運の方で、器量才能を備へながら發展昇進の遲い象があり爲に不平不滿を起し自暴自棄に流れて運氣を破る憂ひがあるから、堅忍不拔の精神を以て奮鬪する心掛けが肝要である。然らば中年後晩年へかけて必ず成功を克ち得るものである。尙養子養女となりて他家を繼ぐ象がある

現在の運勢、　諸事手が屆きさうに見えて故障澁滯がちに流れ、苛々する象の時であるが、焦燥らず急がずして時を待てば自然に通達の期が到來するものである。尙、意志薄弱よりの失敗、物事の澁滯、家庭不和、女難、迷ひ事等に注意を要する。

願望　障碍多く急に調はず。氣長に努力せば日を經て成就の時期到來すべし。

金談　纏るが如く見えて纏らず。氣長に運ばゞ幾分は調ふ望みあり。

賣買　故障多く意の如く運ばず。小取引は差障へなきも大取引は不可。

相場　當分持合ひて後下放るべし。

緣談　故障多くして長引く。良緣に非ざれば見合せたる方吉。尙、一生を通じては情意一致せずして和樂を缺き、緣の變る象あり。

待人　長引く。後に來るも幸便を齎さず。

戀愛　煮切らぬ狀態續きて結局不成立に終るべし。現在成立せる戀は永續せず。思切るべし。

開業　開業後思掛けぬ故障多く發展遲し。見合せて時機を待つ方吉なり。

轉業　障碍ありて意の如く運ばず。時機の到來を待ちて轉ずべし。

就職　急に望みなし。陰忍して暫く時機を待つべし。

旅立　旅程豫定よりも長引く。今少し後にしたる方吉なり。

移轉　時機不利なり。暫く見合すべし。

訴訟　長引きたる後示談成立すべし。

縺れ事　益〻紛糾して容易に解決せざる象あり。急がずして自然に任すべし。

病氣　病狀一進一退の象にて非常に長引くべし。快否は養生次第なり。特に慢性となる憂ひあれば注意を要す。

壽命　病弱なるも思ひの外長壽を得べし。

子寶　子供少なく苦勞多し。出產故障の憂ひあれば注意。

試驗　豫想の如き成績を得難し。

失物　女の手に渡れる象あり。出で難し。

走人　急に分明せず。情事に關係あり。暫く便りを待つべし。

天候　曇天續きて後に雨となる。

方位吉凶、　吉方東南及西北、凶方東及西南

䷉ 兌下乾上　天澤履

履とは禮の義である。此卦乾を上にし兌を下にする。乾は天にして兌は澤である。それ天上に位し澤下に位するは自然の象であつて、即ち上下尊卑の分正しきもので、これ禮の本體である。又乾は尊嚴の象、兌は和悅の象で、尊嚴に和悅が伴へば、始めて禮が完全に行はれるものである。これ此卦を名づけて履と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　中年頃迄は辛勞艱難多く、危險に處する象あるも、急進妄動を愼しみ、忍耐溫和を守りて努力すれば、中年後運氣開け、晩年に至る程幸福を得るものである。

現在の運勢、　艱難危險に臨む時なれば、萬事控目に心掛け進退節度を守ることが肝要である。然らば險難を脫して順調に向ひ來るものである。尙、物事を受繼ぐ象、從來の業務を放るゝ象、失物、油斷よりの災ひ等に注意。

願望　困難多く、異常なる忍耐努力を盡さゞれば成就望み難し。

金談　成功頗る困難なり。然し穩に且氣長に運ばゞ幾分は調ふ望みあり。

賣買　見込み外れがちになりて損失を招く象あり。進まざる方有利なり。

相場　急に上る象あり。

緣談　纏りかけて手落より破るゝ憂ひあれば注意。一生を通じては、女子は氣性荒き夫に添ひて苦勞し、男子は妻緣薄くして變る象あり。

待人　待ちあぐみて諦めたる頃に來る。但し待つ方に眞實心なき時は來らず。

戀愛　成立望み難し。若し成立するとも相互に放縱に流れ愼しみを缺く爲に破る。

開業　開業後困難多く、成功の域に達する迄の忍耐を缺く爲に失敗に終る象あり。

轉業　事情已むを得ざる象あるも、轉業後餘り思はしからざる象あればその覺悟を要す。

就職　急には望みなし。時期を待つべし。

旅立　旅先にて災難に逢ふ惧れあり。見合せたる方宜し。

移轉　動くは不利なり。現狀を守るべし。

訴訟　充分手落なく研究して掛らざれば敗れを取るべし。爭はざる方有利なり。

縺れ事　解決迄には非常に困難障碍多し。忍耐を第一として氣長に解決すべし。

病氣　危險狀態にて急變の惧れあり。茲暫く持たば恢復の望みを生ずべし。
壽命　中年迄に不攝生の爲に夭逝する憂ひあり。攝生よくば相當長壽を得べし。
子寶　子供運惡しき方にて特に女の子に就きて苦勞する象あり。
試驗　不成績なり。將來大いに勉强を要す。
失物　何かの下に覆れてあるべし。西又は西北を尋ぬべし。
走人　當分手懸りの望みなし。手近ならば西又は西北、遠方ならば東南又は西南を尋ぬべし。
天候　鬱陶しき天氣續きて雨か晴か何れかに變るべし。
方位吉凶、　吉方西及西北、凶方東北及西南。

䷊ 乾下坤上　地天泰

泰とは通ずるの義であり、又安きの義である。此卦、上卦は坤、下卦は乾、乾は天にして陽、坤は地にして陰である。それ陽の性は上り陰の性は下る。即ち天地陰陽の二氣相交りて和合する象であり又乾を君主となし、坤を臣民となす。今乾下にありて坤上にあるは、君主よく下情に通じて德下に及び、民其德に浴して君に和する象で、國家安泰の象である。これ此卦を名づけて泰と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　安泰幸福なる運勢であるが、中年後幸運に狎れて心驕り、努力緊張を缺き逸樂に耽りて運氣を破り、晩年に至りて不幸を見る憂ひあれば、戒慎して天與の幸運を全うする心掛けが肝要である。

現在の運勢、　盛運の時で物事意の如く運び、家庭の和合吉兆、良緣の成立、賣買有利等の象あるも慢心よりの災ひ、色情の過ち、油斷よりの失敗等に注意を要する。

願望　成就の望みあるも、油斷安心の爲に最後の五分間と云ふ所にて破れを招く憂ひあれば注意。

金談　成功確實なるも、手に入りたる爲に心緩みて將來の災ひとなる憂ひあれば注意。

賣買　賣買共に大利を得べし。然し調子に乘過ぎて失敗の憂ひあれば戒慎を要す。

相場　目先持合氣味なるも結局下る相場なり。

緣談　良緣にして纏る。一生を通じては夫婦和合し家庭幸福なるも晩年近くに稍故障あれば注意。

待人　吉報を齎して來る。

戀愛　相思の間にて必ず成立す。但し成立後相互に我儘放縱に流れて破るゝ憂ひあれば注意。

開業　繁昌し成功すべし。始めて吉。然し調子に乗りて油斷慢心に流れざること肝要なり。

轉業　好機會なり轉じて吉。

就業　好地位を得べし。然し就職後得意になりて過ちを招く憂ひあれば愼しむべし。

旅立　旅程安泰にして幸福を得べし。出でゝ吉。

移轉　轉じて吉。

訴訟　勝利を得、示談にても有利なる解決を得べし。なるべくは示談したる方吉なり。

縺れ事　穩和に運ばゞ都合よく解決すべし。

病氣　間もなく全快すべし。然し恢復後油斷して失敗を招く憂ひあれば注意。

壽命　健康長壽の生れなり。然し健康を誇り攝生を缺きて命數を全うせざる憂ひあれば注意。

子寶　子福長者にて家運繁榮すべし。

試驗　好成績なれども慢心より禍ひを招く惧れあれば愼しみ肝要なり。

失物　出づ。西南又は西北を尋ぬべし。但し些少なるものは出でざることあり。

走人　心配の要なし。間もなく歸るべし。

天候　晴天續くべし。

方位吉凶、　吉方西南及西北、凶方東及西

坤下
乾上　天地　否

否とは物事通せずして塞がる義である。此卦、上卦は乾下卦は坤で、前の泰の卦と全く反對であつて、從つて陽氣は上り陰氣は下りて、天地陰陽の氣隔絶して通せず交らざる象であり、又上にある君主下情に通せずしてその德下に及ばず、民君恩に浴せずして忠誠を失ふ象である。これ此卦を名づけて否と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　中年頃迄は薄運にして辛勞艱難多き象あるも、これに屈せずして忍耐努力すれば、中年過より運氣開け來り、晩年に至りて盛運幸福を得るものである。

現在の運勢、　衰運にして辛勞困難多く、萬事意の如くならざる時なるも、自暴自棄に流れずして忍耐努力せば、運氣轉換吉運を得るに至るものである。尙、大望を企てゝの失敗、惡人に苦めらるゝ

象、正義通らざる象、願望調はず、爭事、別離、賣買損失、病難等の象あれば注意。

願望　成就せず。忍耐して時節を待つべし。

金談　調はず。費用倒れに終るべし。

賣買　品物捌けずして賣買共に損失の象あり。見合せて時期を待つべし。

相場　目先暴落して底となるべし。

緣談　凶緣なり見合すべし。纏り難し。一生を通じては男女共に緣薄く夫婦間の和合を得ず。緣變る象あり。

待人　來らず。萬一來るとも爭ひとなる象あり。

戀愛　成立せず。現在關係ある戀は終りを保たず。早く別れたる方吉なり。

開業　時機を得ずして、失敗に終るべし。見合すべし。

轉業　事情己むを得ざる象あるも、なるべくは現狀を守る方吉なり。

就職　當分望みなし。時節を待つべし。

旅立　出づるは凶。旅先にて災難に逢ふか、目的達せざる象なり。

移轉　なるべく現狀を守るを吉とす。

訴訟　敗る。爭ふべからず。

縺れ事　解決困難にして結局不利に終るべし。

病氣　恢復望み難し。若し長く持たば或は治することあり。

壽命　短命の憂ひあり。精々身體を大切にすべし。

子寶　子供運惡しく、親不孝にて家を破るが如き惧れあれば、養育上の注意肝要なり。

試驗　不成績なり。大いに奮勵を要す。

失物　人手に渡りて出でず。

走人　早速歸る望みなし。或は生命危險の惧れあり。

天候　險惡なる天候續きたる上、一暴れ暴れて後晴る。

方位吉凶　吉方西南及西北、凶方東南及東北

離下乾上　天火同人

同人とは相親しみ相和する義である。此卦、上卦は乾にして天の象、下卦は離にして火の象で、天

も火も上るものにしてその性相同じく、又全卦中六二のみ陰にして他は皆陽なるを以て、五陽皆六二に親しみ和せんと欲する象である。即ち共に同人の義である。故に此卦を名づけて同人と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　人德ありて大功を遂げ名を揚ぐる運勢なるも、功を急ぎて妄動し、我意偏狹に流れて折角の運勢を破る憂ひがあるから愼しみが肝要である。

現在の運勢、　人の信愛を得けて運氣開け、功を遂げ名を揚ぐる象がある。尙、共同事の成功、交際を廣くしての開運、目上の引立等の象あるも、頑固狹量よりの失敗不利、愛情に溺れての災ひに注意を要する。

願望　人の助けありて成就す。

金談　調ふ。思掛けぬ方面にて調ふことあれば手廣く話を進むべし。

賣買　利あり。手廣く進みて吉。又共同にて利を得る象あり。

相場　目先持合ひて後强氣配を示すべし。

緣談　成立す。良緣なれば纏めて吉。一生を通じては、夫婦間の情愛深く圓滿幸福を得べし。

待人　吉報を齎らして來る。

戀愛　先方にも心ある象なり。成立疑ひなし。

開業　時運に投じて成功すべし。始めて吉。特に共同事業に有利なる象あり。

轉業　不可ならざるも我意に任せて進むは凶。充分人の意見を求めて後に決すべし。

就職　人に信愛せられて好地位を得べし。

旅立　出でゝ吉。旅先にて吉運を開く象あり。

移轉　轉じて差支へなきも、周圍の反對を顧みず强いて轉ずるは不可。

訴訟　爭ふは不可。溫和の態度に出づれば圓滿有利に解決すべし。

縺れ事　穩に人の意見に從ふべし。然らば圓滿有利に解決すべし。

病氣　追々快方に向ふべし。醫師及び周圍の人の言に柔順に從ふこと肝要なり。

壽命　健康にして長壽なり。

子寶　子供多く名を揚げ家運を開くべし。

試驗　好成績を得て面目を施すべし。

失物　人手に渡しる象あるも、先方が正直なる爲に再び手に戻るべし。

走人　緣故の人の所に居るべし。間もなく歸るか便りあるべし。情事關係の場合多し。
天候　好晴續くべし。
方位吉凶、吉方南及西北、凶方北及西南。

䷍ 乾下離上　火天大有

大有とは弘大にして豊盛なる義である。此卦上卦は離にして日の象、下卦は乾にして天の象で、即ち日天上に輝きて普く萬物を照す象であり、又これを時に取れば、離は夏にして萬物繁殖し、乾は秋冬の候にして萬物を收藏する象で、共に大有の義である、故に此卦を名づけて大有と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　金運もあり、人の上に立ちて大業を遂げ名を揚ぐる象ありて、盛大なる運勢の生れであるが、慢心を生じ勢ひに乘過ぎ、特に人の妬みを受けて運氣を破る憂ひがあるから慎しみが肝要で、殊に中年頃より晩年へかけて注意が大切である。

現在の運勢、　非常に盛運の時であるが、極點に達して傾きを兆す象があるから、調子に乘過ぎず心を引締めることが肝要である。尚、人の上に立つ象、業務繁榮、金運等の象あるも、厄介事、進み過ぎの失敗、讒言中傷、慢心よりの災ひ、散財等に注意を要する。

願望　調ふ。但し八分通り成就したる所にて安心油斷より破るゝ憂ひあれば注意。
金談　調ふ。但し調子に乘り慾を出して失敗を招く憂ひあれば慎しむべし。
賣買　利あり。然し機を見て引締めざれば不利に轉ずる象あれば調子に乘らざること肝要なり。
相場　高し。然し天上を突く象あれば注意を要す。
緣談　良緣にして纏るべし。一生を通じては家運繁榮身上發展の基を開くべし。然し晩年近くに故障を生ずる憂ひあれば注意を要す。
待人　間もなく來る。然し意外の人の訪問を受けて厄介を申込まるゝ惧れあれば注意。
戀愛　成功す。然し婦人は成立後慎しみを缺きて破れを招く惧れあれば注意。
開業　盛大繁榮を見るべし。始めて宜し。然し調子に乘過ぎざること肝要なり。
轉業　轉じて宜し。
就職　望みよりも好地位を得べし。然し就職後慢心して人に憎まるゝ惧れあれば注意。

旅　立　旅行の目的は達し得るも、費用倒れとなる憂ひあれば注意すべし。

移　轉　轉じて差支へなし。

訴　訟　勝利を得るも意外に費用を要して結局不利となる象あり。

縺し事　都合よく解決すべきも、意外の費用を要する象あれば注意を要す。

病　氣　今が頂上なれば茲暫くの經過にて快否何れかの目鼻つくべし。發熱に最も注意を要す。

壽　命　人に優れて長壽なるも、健康に誇り無理をして天壽を破る象あれば注意。

子　寶　子福長者にて幸福を得べし。然し女兒の敎育を過らざる樣注意大切なり。

試　驗　好成績を得べきも將來の慢心油斷を慎しむこと肝要なり。

失　物　出づべし。南又は西北にて高き所を尋ぬべし。

走　人　間もなく便りあるべし。案外遠方に走れり。

天　候　晴天續く。干魃の象あり。

方位吉凶、　吉方南及西北、凶方北及西南。

地山　謙

艮下坤上

謙とは謙讓の義である。此卦上卦は坤にして地の象、下卦は艮にして山の象で、即ち艮山の高きを以て地下にあるの象で、これを人に取れば大才大德ありて衆に下るの象であつて、謙讓の義である。又坤はその德柔順にして艮は篤實である。即ち內篤實にして外柔順なるは、亦謙讓の義である。故に此卦を名づけて謙と稱する所以である。

占　斷

一代の運勢、　運氣平順なる生れであるが、どちらかと云へば晩運の方で、中年後晩年へかけて特に盛運幸福を得る象がある。然し功を焦燥りて和順平靜の心掛けを失ふ樣なことがあると、折角の運氣を破るに至るものであるから慎しみが肝要である。

現在の運氣、　平穩無事なる運勢であるが、慾に迷ひて謙讓の心を失ひ、急進妄動に流れて運氣を破る憂ひがあるから慎しみが肝要であり。尙初め屈して終に伸びる象がある。

願　望　功を急がず短慮を慎しみて、氣長に努力せば必ず成就の望みあり。

金談　長引くも調ふ望みあり。決して成功を急ぐべからず。
賣買　利を急がず、山氣を慎しみ深慾に流れざれば利を得べし。
相場　下落すべし。
緣談　良緣にして纏る。稍長引く象あるも成立を急ぐべからず。一生を通じては温情に富む配遇者を得て、圓滿幸福の家庭を作り得べし。
待人　遲るゝも來る。落着きて待つべし。
戀愛　氣長に眞實を盡さば成功すべし。情熱に騙られ慎しみを缺きて破る憂ひあれば注意。
開業　始めて宜し。然し成功を急がず末を樂しみに忍耐努力する心掛け肝要なり。
轉業　轉ずるは凶。現狀を守りて忍耐努力せば必ず時節到來して吉兆を得べし。
就職　急ぐは不可。落着きて時節を待たば必ず好機會到來すべし。
旅立　旅程平安無事なり。出でゝ宜し。
移轉　動くは不可。現狀を守るべし。
訴訟　爭ふは絶對に不可。穩に解決すべし。
縺れ事　謙讓の心を持して時節を待たば、自然に都合よく解決すべし。短慮は禁物。
病氣　さして重症にあらざるも思ひの外長引く象あり。氣長に養生すべし。
壽命　攝生を守らば思ひの外長壽を得べし。
子寶　少き方なるも温順篤實にして親思ひの兒女を得べし。
試驗　普通の成績なり。
失物　稍月日を經て後自然に出づべし。
走人　割合近くにあり。東北又は西南にて知合を尋ぬべし。若し遠方へ走れる場合は、間もなく便りあるべく、行先地に落着きて安定を得べし。
天候　穩かなる日續くべし。
方位吉凶　吉方東北及西南、凶方西及西北。

坤下 震上　雷地豫

豫とは悅樂の義である。此卦上卦は震にして雷の象、下卦は坤にして地の象である。即ち雷地上に出でゝ奮ひ動く象で、雷動くや陽春の氣發動して萬物暢育す。融和悅樂の象である。又震を動となし

坤を順となす。上動きて下これに順ふは、上下和順、君臣悅樂するの象である。故に此卦を名づけて豫と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　中年頃迄は吉運順調にして萬事意の如くなる象あるも、中年後に至り盛運に慢心して驕奢逸樂に流れ、折角の運氣を破る憂ひがあるから、心を引締めて晩運を全うする心掛けが肝要である。

現在の運勢、　盛運にして萬事順調に運ぶ時なるも、その爲に心驕り怠惰遊樂に耽りて運氣を破る象あれば、心身を緊張し努力を怠らざる心掛けが肝要である。尙、目上の愛顧引立、良緣の成立、業務繁榮、金運等の象あるも、物事の規律を亂し整理を怠りての紛糾事、酒色の過ち、盜難に注意を要する。

願望　成就の望みあるも、功を急ぎての破れ、安心油斷よりの不調を招く憂ひあれば注意。

金談　調ふ。但し成立間際に手落ちより破れを見、又安心より無駄費ひする憂ひあれば注意。

賣買　賣買共に利あり。殊に品物販路を得て騰貴し大利を得る象あり。

相場　急に上る。然し急騰後は警戒を要す。

緣談　良緣にして纏る望みあるも、成立間際に手落ちより頓挫する惧れあれば注意。一生を通じては男女共に緣運よく、特に男子は內助の功多き良妻を得べし。然し中年後相互の心の緩みより故障を招く憂ひあれば愼しみ肝要なり。

待人　來る。餘り長引かば今一度催足すべし。

戀愛　成立すべし。然し成立後相互の我儘より破れを見又は他に心の動く憂ひあれば注意。

開業　有望なり始めて吉。然し開業後順調に過ぐる爲に心の緩みより失敗を招く憂ひあれば注意。

轉業　不可。心を取直し緊張して現在の業務に勉勵すべし。

就職　目上の引立ありて成立すべし。然し就職後心に緩みを生せざる心掛け肝要なり。

旅立　出でゝ宜し。然し旅先にて迷ひを生じ遊樂散財に耽る憂ひあれば意志を强固に持つべし。

移轉　萬己むを得ざる場合の外は轉せざるを吉とす。

訴訟　勝つべし。然し安心油斷すべからず。

縺れ事　優柔不斷に流れず、果斷を以て進まば都合よく解決すべし。

病氣　養生さへ充分に屆かば全快すべし。然し手遲れ又は初めに輕く考へて失敗する憂ひあれば注意肝要なり。

壽命　健康長壽なるも攝生を怠りて天壽を全うせざる憂ひあり。特に酒色を節すること肝要なり。

子寶　子供多く將來有望なるも、教育を過らざること肝要なり。

試驗　以前の好成績に心驕り、油斷せる爲に不成績を見る象あり。

失物　人手に渡りて出でず。

走人　遠方へ走れり。東又は西より南へかけての方角にて心當りを尋ぬべし。

天候　變化多くして定らず。然し後には好晴となるべし。

方位吉凶、　吉方東及西南、凶方東南及西北。

䷐ 震下兌上　澤雷　隨

隨とは從ふの義である。此卦上卦は兌にして澤の象、下卦は震にして雷の象である。即ち雷澤中に奮ふの象で、雷澤中に奮へば澤も亦隨ひて動き、陽氣これより發す。これ隨の義である。又兌を少女となし震を長男となす。即ち長男を以て少女に下るの象で、長男少女に下れば、少女は悅んでこれに從ふものである。亦隨の義である。故に此卦を名づけて隨と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　自己の才能を誇り我意に任せて進む時は破れを招くべし。又自主獨力の事業に適せずして人の事業を助け、人に從ひて目的を達し功を遂げ得る運勢であるから、此運氣を悟りて進むことが肝要である。

現在の運勢、　我意に任せ人の意見を用ひずして進み、失敗不利を招く象あれば注意を要する。尙、共同事の成功、目上又は有力者を動かしての成功等の象あるも、不正に組しての災ひ、物事の延滯獨立事業不可、移氣よりの失敗、女難等に注意を要する。

願望　長引くも根氣よく進まば遂に成功すべし。人の力を借りる時は利あり。

金談　色々と故障ありて長引くも、短氣を起さず氣長に進まば纏るべし。

賣買　形勢を眺め時期の到來を待ちて進まば、賣買共に利あり。急ぐ時は失敗損失あり。

相場　目先上りて後下る。

緣談　良談なれば纏めて吉なれども長引く象あり。急ぐは不可。一生を通じては男子は柔順なる良妻を得、女子は情深き夫に添ひて共に幸福を得べし。

待人　來る心あるも事情を生じて長引く。焦燥らずして時を待つべし。

戀愛　先方も戀慕の心深きも口へ出し兼たる象なり。思切つて進むべし。

開業　順調に運ぶべし。始めて吉。共同事ならば特に有望なり。

轉業　時機を得ず。今暫く時節を待たば人の助力ありて有利に轉回すべし。

就職　縁故を頼り極力運動すべし。然らば長引くも望みあり。

旅立　出でゝ差支へなきも豫定より意外に長引くべし。

移轉　轉ずるは不可。現狀を守るべし。

訴訟　長引くゝ人に任せて示談する方吉。

縺れ事　人の力を借りて氣長に解決すべし。然らば都合よく解決すべし。決して焦燥るべからず。

病氣　心配せる程重症にあらざるも、長引く象あれば氣長に養生すべし。

壽命　若き中は稍病弱の傾きあれども、身體を大切にせば意外に長壽を保つべし。

子寶　親思ひにて温良の兒女を得べし。女兒の方多し。

試驗　悲觀せるよりも案外好成績なり。

失物　何かの中に紛れ込める象なり。氣長に尋ぬれば出づ。方角東か西。

走人　同伴者あり。情事關係によること多し。長引くも自然に分明すべし。

天候　雨天がちなるも日を經て晴る。

方位吉凶、　吉方東及西、凶方東南及東北。

巽下艮上　山風蠱

蠱とは壞れ亂るゝ義である。此卦上卦は艮にして山の象、下卦は巽にして風の象で、即ち風山を荒して草木を壞亂するの象であつて、蠱の義である。又巽を長女となし艮を少男となす。即ち長女色情を以て少男を惑亂するの象で、亦蠱の義である。故に此卦を名づけて蠱と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　少青年時代は順境に惠まれる生れであるが、其結果心身柔弱に流れ、奢侈の風習に染りて身を過ち、中年に至りて逆境に沈む象あれば、少青年時代に心身を鍛錬し意志を強固に持ちて、順境に馴れて身を過たぬ心掛けが肝要である。

現在の運勢、　安逸に馴れて心に亂れを生じ、運氣を破る象あれば、意志を強固に持ち周圍の情弊を一新する心掛けが肝要である。尚、奢侈柔弱に流れての災ひ、色情の過ち、家庭の亂れ、物事の故障、小事より大事を招く憂ひ、私慾に走りての災ひ、迷事等に注意を要する。

願望　身持ち惡しく慎しみを缺く爲に調はず。心身を緊縮し大いに努力すること肝要なり。

金談　長引くのみにて調はず。

賣買　取引上の故障手違ひを生じて損失を招く。特に粗惡品を掴されて損失を招く象あれば注意。

相場　目先下りて後樣變りとなりて上るべし。

緣談　捗々しく運ばず。惡緣なれば見合せたる方吉。一生を通じては、男子は多情淫奔の女を妻とし、女子は素行治らざる夫に添ひ、家庭亂れて辛勞不幸を見る象あり。

待人　長びきて結局來らず。待つよりも出向きたる方宜し。

戀愛　先方は浮氣者なれば、成立するも間もなく破るゝか非常に迷惑する象あり。思切る方吉。

開業　失敗損失に終るべし。始むべからず。

轉業　轉じて宜し。現在の業務を改革して進むも亦開運上の一策なり。

就職　故障ありて調ひ難し。時期を待ち方面を變へて運動すべし。

旅立　故障ありて目的を達せず。見合すべし。

移轉　轉じて吉。迷ひて機を逸し不利を見る憂ひあれば、決斷して早く轉ずべし。

訴訟　破る。爭ふべからず。

縺れ事　躊躇せず果斷の處置に出づべし。然らば意外に早く都合良く解決すべし。

病氣　長引く。醫者を變じて吉。手術を要する病氣は一日も早くすべし。

壽命　青年時代に不攝生の爲に夭折する憂ひあり。攝生よくば中年頃より健康一新長壽を得べし。

子寶　子供はあるも、病身か不品行の爲に辛勞する象あり。養育上特に注意肝要なり。

試驗　不成績なり。奮勵努力肝要なり。

失物　何かの下積みとなれる象あり。今一度極力尋ねて出でざれば人手に渡りて出でず。

走人　早速手掛りなし。色情關係あり。方角東北及び東南を尋ぬべし。

天候　はつきりせぬ天候續きたる後、一暴れ暴れて晴る。

方位吉凶、　吉方東北及東南、凶方東。

䷒ 兌下坤上　地澤臨

臨とは上より下に望む義である。此卦上卦は坤にして地の象、下卦は兌にして澤の象で、即ち澤上に地ある象であつて、地澤相望む貌である。又卦體を以てこれを見れば、四陰上にありて二陽下に居

り、二陽漸く長じて四陰に進み近づかんと欲し、四陰も亦その進むを俟つて下に臨む象である。これ此卦を名づけて臨と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　堅實を守りて一歩一歩漸進すれば、漸次發展して功を遂げ得る運勢であるが、調子に乗つて急進したり山氣に走る樣なことがあると、運氣を破り困難に陷る象があり。特に中年前後に挫折を見る憂ひがあるから注意を要する。

現在の運勢、　盛運到來せる時なるも、勢ひに乘過ぎて運氣を破る憂ひがあるから愼しみが肝要である。尙、仕官成立、身上安定、人と親和を計りての吉兆、共同事の成功等の象あるも、短慮の災ひ人の妬みを受くる憂ひあれば注意。

願望　成就の機會到來せる時なれば、今一段奮勵努力すべし。

金談　調ふ。然し餘りに成立を急ぐは不可。

賣買　利を焦燥らず形勢を見て徐々に進まば必ず利あり。

相場　今安く後上るべし。

緣談　良緣にして纏る望みあるも急ぐべからず。一生を通じては緣稍遲きも和合幸福を得べし。

待人　少し遲るゝも來る。

戀愛　成功すべし。然し感情に走り過ぎて破れを見る憂ひあれば愼しみ肝要なり。

開業　始めて宜し。然し成功を急がずして漸次發展を計る心掛け肝要なり。

轉業　現狀を守りて今暫く辛抱すべし。然らば順調の氣運到來すべし。

就職　稍長引くも成立すべし。急ぐは不可。

旅立　出でゝ宜し。

移轉　なるべく現狀を守る方吉なり。

訴訟　勝利を得べきも爭ふは結局不利なり。和解する方有利なり。

縺れ事　長引く象あるも、解決を急がず穩に進まば都合よく解決すべし。

病氣　養生さへ屆かば長引くも全快すべし。

壽命　長壽なるも、中年頃無理をして天壽を縮むる憂ひあれば注意を要す。

子寶　勤勉實直にして將來有望の兒女を得べし。

試驗　好成績の方なるも、期待に反する象あり。

失物　氣長に尋ぬれば出づ。方角西南又は西。

走人　暫く時期を待たば自然に歸るべし。
天候　當分變化なし。曇天ならば程なく晴る。
方位吉凶、　吉方西及西南、凶方東北及西北。

䷓ 坤下巽上　風地　觀

觀とは上より下に示し、下より上を仰ぎ見る義である。此卦上卦は巽にして風の象、下卦は坤にして地の象で、即ち風地上を行く象である。夫れ風の地上を過ぐるや、形なきも萬物に觸るゝを觀る。これ觀の義で、觀とは心にて見る意である。又卦體を以てこれを見れば、上に二陽ありて下の四陰皆これを仰ぎ見、二陽も亦四陰を觀る。亦觀の義である。これ此卦を名づけて觀と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　波瀾曲折多く、殊に中年時代は浮沈の激しい運勢であるが、志行を正しくし信義を守りて廣く人に交れば、浮沈を免れ、高貴の引立を受け、衆人の尊敬を得て、求めずして幸福至り名を揚げ得るものである。

現在の運勢、　色々と身上に變動の多い時であるが、利慾を求めず自然に任せ、行ひを正しくする時は、幸福自ら至るものである。尚、目上の引立、雪辱、住所の變動等の象がある。

願望　成就する迄には迂餘曲折多き象あり。功を焦燥らず自然に任せて努力すること肝要なり。

金談　今焦燥るとも功なし。暫く時期を待たば自然に調ふ機會到來すべし。

賣買　商況亂調の象あれば、今暫く形勢を觀望すべし。

相場　今安く後大波瀾を示すべし。

緣談　纏るとも苦情多きか、一度破談に終りて再び話の起る象あり。一生を通じては、夫婦生活に浮沈波瀾多く、中年頃緣の變る惧れあれば注意を要す。

待人　來否定らざる象なり。氣長に待つべし。

戀愛　經緯多く成否定らず。成立するとも故障苦勞多く終りを全うすること至難なり。

開業　將來有望なるも成功迄に難關多き象あり。切拔け得る決心定らば始めて宜し。

轉業　事情切迫の象あるも、轉業後困難甚しき故なるべくは現狀を守るを吉とす。

就職　容易ならざるも、目上に依賴して氣長に時節を待たば調ふ望みあり。

旅立　旅行中故障災難の憂ひあれば見合す方吉なり。

移　轉　事情己むを得ざる象あるも、なるべく現狀を守る方吉なり。

訴　訟　勝利の望みあるも紛糾して非常に長引く象あり。相當の條件ならば和解する方有利なり。

縺れ事　益〻紛糾を重ぬる象あり。手を引きて人に任す方吉なり。

病　氣　一進一退して病勢定らず。從つて快否不明なり。焦燥らず氣長に養生すること肝要なり。

壽　命　非常に長壽なるか、反對に短命に終る惧れあり。中年前後迄は特に健康に注意を要す。

子　寶　人並より多きか反對に少き象あり。何れにせよ子供に就きては辛勞多き方なり。

試　驗　成績不定にして優等の科目と劣等の科目と入交る象あり。

失　物　人手に渡るか埋れて出でず。

走　人　歸るものならば數日中に歸るべし。然らざれば遠方に走りて永く歸らず。方角は南。

天　候　天候定らずして風強し。

方位吉凶、　吉方東南及西南、凶方東及西北。

䷔ 震下離上　火雷噬嗑

噬嗑とは嚙合すと云ふ義である。此卦上卦は離にして明となし、下卦は震にして動となす。即ち明にして動く象でよく合ふことを得るものである。これ噬嗑の義である。又卦體を以てこれを見れば、上下二陽は兩唇に當り、二三五の三陰は齒に當り、四爻の一剛その間にあるは物の口中にある象で、これを嚙みつぶして兩唇よく合ふことを得るものである。亦噬嗑の義である。故に此卦を名づけて噬嗑と稱する所以である。

占　斷

一代の運勢、　艱難辛勞多き一生なるも、強固なる意志と不屈の勇氣とを以て奮鬪すれば、よく此艱難辛勞を排除して、中年後晩年へかけて目的を達し幸福を克ち得るものである。

現在の運勢、　障碍多く諸事意の如くならざる時なるも、強固なる意志と氣力とを以て奮鬪すれば、よく難關を切拔けて吉運を開き志を遂げ得るものである。尙、爭事、短慮の災ひ、女に關しての面倒事、刑罰、讒言中傷、人を用ひず直接に進みての有利等の象がある。

願望　障碍ありて成就困難なるも、不屈の精神と勇氣とを以て進まば遂に成功すべし。

金談　思掛けぬ障碍を生じて調はず。然し努力奮闘せば人の力を借りずとも金運至るべし。

賣買　思惑齟齬して損失を招くべし。然し勇氣を失はず挽回に努力する心掛け肝要なり。

相場　目先亂調子を示すも結局は上る。

緣談　故障起りて成立せず。良緣ならず。一生を通じては家庭に風波多く幸福を得ざる象あり。

待人　差支へ起りて來らず。

戀愛　不成立に終ること多し。然し非常に強硬に出づれば一時成功を見ることあるも永續せず。

開業　故障起りて開業不可能に終るべし。強いて始むるも永續非常に困難なり。

轉業　事情己むを得ざる象あり、思切つて轉ずべし。然し轉業後の困難は豫め覺悟を要す。

就職　故障妨碍を生じて纏らず。然し自暴自棄に流れず意志を強固に持ちて時節を待つべし。

旅立　旅先にて困難に逢ふか、故障の爲に中途にて歸る象あり。見合せたる方吉なり。

移轉　動くべき運命なり。思切つて早く轉ずる方吉なり。

訴訟　勝利を得べし。強硬に進むべし。

縺れ事　周圍の情實に因れず果斷の處置を取ること必要なり。人に任ずは絶對に不可。

病氣　重態にして意外の變化を見る憂ひあり。非常の手段を取りて功を奏することあり。

壽命　健康長壽の方なるも、突然の災難に遭ひて壽命を縮め、又は身體を大切にし過ぎて天賦の健康を損ずる憂ひあれば注意を要す。

子寶　子供は多き方なるも、親の意見に逆ひて苦勞を掛くる者出づる憂ひあり。

試驗　良否共に意外の結果を見る象あり。怠りなく勉強すること肝要なり。

失物　人手に渡れるか、何處にか紛れ込みて破損せる象あり。出で難し。

走人　被護する人ありてその人の所に隱る。方角南か東。

天候　急變の象あり。暴れて後晴るゝこと多し。

方位吉凶、　吉方南及東、凶方北及東南。

䷕ 離下艮上　山火賁

賁とは飾るの義である。此卦上卦は艮にして山の象、下卦は離にして火の象で、即ち山下に火ありて火光樹木に映じ、色彩燦然たる象であつて、賁の義である。又艮を虎となし離を雉となす。共に華

美なるもの、亦賁の義である。故に此卦を名づけて賁と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　少青年時代は吉運順調なるも、中年後逆運に陷る憂ひがあり、特に驕奢華美に流れて運氣を破り、困窮に陷る象があるから慎しみが肝要である。

現在の運勢、　內實苦しきに拘らず、虛勢を張り奢侈に流れて益困窮に陷る象があるから、分相應を守る心掛けが肝要である。尙、人と親睦を計りて吉。小事は可なるも大事は不可等の象がある。

願望　小事は調ふも大事は調はず。分外の大望を慎しむべし。

金談　小金は手に入るも大金は望みなし。

賣買　景氣をつけて進まば利あり。

相場　上る。

緣談　調ふも話と實際と非常に相違して案外する象あり。一生を通じては、虛榮に流れ外觀に惑されて結婚し、不幸を見る象あれば、よく先方の內容を調べて結婚すること肝要なり。

待人　來るも期待外れて案外する象あり。

戀愛　双方とも心はありながら、見得を飾る爲に不成立に終る象あり。

開業　開業當時は盛大を見るも永續せざる憂ひあれば、安心油斷せざること肝要なり。

轉業　轉ずるも結果思はしからず。然し心落着かず結局轉ずるに至る象あり。

就職　調ふも心に添はざる象あり。

旅立　費用倒れに終る象あり。出でざる方吉。

移轉　現狀を守るを吉とす。

訴訟　豫想外の費用を要し結局は不利なり。示談したる方有利なり。

縺れ事　關係者に實意なき爲に益紛糾する象あり。眞心を披歷して解決を計ること肝要なり。

病氣　病氣を輕く考へて取返しの着かぬ結果を見る憂ひあれば注意肝要なり。

壽命　外見强壯に見えて內實柔弱の象あり。攝生を守り身體の强健を計らざれば長壽を保ち難し

子寶　子供運良き樣に見えて實際は苦勞多き象あり。柔弱虛榮に流れざる樣敎育すること肝要。

試驗　意外に不成績の象あり。

失物　出でず。若し出づることあるも中身は手に入らず。

走人　脅かす心持ちにて家出したる象なり。打捨て置かば間もなく歸るべし。

天候　一時晴るゝも續かず。

方位吉凶、　吉方東北及南、凶方西及北。

山地剝

坤下
艮上

剝とは陰が陽を剝し消盡するの義である。此卦上卦は艮にして山、下卦は坤にして地で、即ち、山下より崩れて次第に平地となる象で、剝の義である。又卦體よりこれを見れば、五陰下に長じて僅に上に一陽を有するのみにして、將に一陽をも消盡せんとする象で、亦剝の義である。是れ此卦を名づけて剝と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　少年時代は幸運の方であるが、漸次衰運に傾き、中年前後より逆境に陥り晩年に至りて艱難困苦に沈む憂ひあれば、萬事堅實を守り奮勵努力して衰運を防ぐ心掛けが肝要である。

現在の運勢、　運勢傾き辛勞困難多く危險に處する時なれば、身を愼しみて氣運の挽回に努める心掛けが肝要である。尙、不慮の災難、欺かるゝ象、守るに吉進むに凶、金錢損失等の象あれば注意。

願望　勞して功なく時と金とを損して困窮に陥る象あり。

金談　調はず。費用を費すのみにて所謂盜人に追錢の象あり。早く歸むる方利益なり。

賣買　見込み外れて損失するか、他に欺かれて馬鹿を見る象あり。

相場　崩落の兆あり。

緣談　纏らず。凶緣なり。一生を通じては緣運惡しくして苦勞多く、早く連合ひに死別するか、離別の悲しみを見る象あり。

待人　來らず。若し來るとも却つて迷惑となるべし。

戀愛　成功せず片思ひの象なり。男子は惡性の女に引懸りて飛んだ災難を招く惧れあれば注意。

開業　失敗に終る。見合せて時を待つべし。

轉業　轉じて却つて困難に陥るべし。忍耐して現狀を守るべし。

就職　纏らず。落着きて時期を待つべし。

旅立　故障災難を招く象あり。出づるは凶。

移轉　現狀を守るを吉とす。

訴訟　詰らぬ費用を使ふのみにて破る。讓歩して和解する方有利なり。

縺れ事　容易に解決の見込みなく益困難の立場に陥る象あり。自然に任するより方法なし。

病氣　危險狀態にして先づ恢復の望みなし。
壽命　短命の憂ひあり。全力を盡して身體の健康を計ること肝要なり。
子寶　子供少なし。生るゝも身體弱きか不良兒を出す憂ひあれば、養育上の注意最も肝要なり。
試驗　意外に不成績なり。
失物　人手に渡りて出でず。諦むべし。
走人　生命に危險あり。一刻も早く極力尋ぬべし。方角東北又は西南。
天候　險惡の天候續くべし。
方位吉凶、　吉方東北及西南、凶方西及西北。

䷗ 震下坤上　地雷復

復とは恢復の義にして、陰消し陽長ずるを云ふ。此卦上卦は坤にして地、下卦は震にして雷、即ち地中の雷時を得て將に地上に出でゝ勢ひを奮はんとする象で、復の義である。又卦體よりこれを見れば、一陽始めて下に生じ、長じて五陰を消せんとする象で、亦復の義である。これ此卦を名づけて復と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　吉運の生れで、功を急がず堅實に一歩一歩漸進する方針を守れば、年と共に運氣開け中年後晩年へかけて盛運幸福を克ち得るものである。
現在の運勢、　冬去り春來りて、萬物甦るが如く盛運に向ふ時であるが、功を急ぎ堅實を缺きて折角の運氣を破る憂ひがあるから慎しみが肝要である。尙、物事成就の望み、創業吉、澁滯事の解決等の象がある。
願望　調ふ望みあるも急ぎて破る憂ひあれば、徐々に運ぶ心掛け肝要なり。
金談　調ふ。然し焦燥り過ぎ又は調子に乘過ぎて失敗する惧れあれば注意。
賣買　實力を考へ手堅く進まば賣買共に利あり。又賣品再び手に返る惧れあれば豫め注意を要す
相場　漸騰歩調を示すべし。
緣談　良緣なり。中途にて一時故障を見ることあるも氣長に進まば繼る。一生を通じては良緣を得て繁榮幸福を得べし。
待人　故障を生じて遲るゝことあるも必ず來る。

戀愛　感情に走らず氣長に進まば必ず成功すべし。

開業　始めて宜し。然し成功を急がず徐々に發展を計る心掛け肝要なり。

轉業　轉ずるも再び元の業に復る象あり。

就職　急がずして氣長に求むれば好地位を得べし。

旅立　出でゝ吉。然し途中にて歸宅の必要を生ずる憂ひあれば出發前に後始末を充分にすべし。

移轉　轉じて差支へなきも餘り急ぐは不可。

訴訟　長引くも勝つ。

縺れ事　急がず氣長に運ばゞ都合よく解決すべし。

病氣　氣長に養生せば必ず恢復すべし。

壽命　少青年時代は幾分病弱の憂ひあるも青年時より强健となり意外に長壽を得べし。

子寶　子福長者にて家運繁榮すべし。

試驗　成績大いに進歩すべし。

失物　出づ。東又は西南を尋ぬべし。

走人　一週間内に便りあるか歸り來るべし。

天候　恢復して好晴續くべし。

方位吉凶、　吉方西南及東、凶方西北及東南。

䷡ 震下乾上　天雷　无妄

无妄とは亂るゝことなく、正しく誠なる義である。此卦上卦は乾にして天、下卦は震にして雷、即ち天下に雷行くの象で、造化自然の妙用にして天眞の發露である。又乾を天となし震を動となす。即ち天道運行の象にして、寸毫の邪慾僞念なく至誠公大の象で、共に无妄の義である。故に此卦を名づけて无妄と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　變化浮沈烈しく、殊に我意我慾に走り急進妄動に流れて、困窮災難を招く象あれば、身を慎しみ正義を守り、人の意見を重んじて天命に安んずる心掛けが肝要である。然らば中年後晩年へかけて幸運を得るに至るものである。

現在の運勢、　運氣澁滯して意の如くならず。その結果急進妄動に流れて一層困窮に陷る象あれば、

身を慎しみ誠實を守りて時運の開運を待つことが肝要である。尙、不慮の災難、動くは凶、分外に走りての過ち等の象あれば注意。

願望　調はず。忍耐して時節を待つべし。

金談　今は調はず。時節到來せば思掛けぬ方面にて自然に調ふべし。

賣買　意外の損失を招く象あれば注意を要す。

相場　上る。

緣談　纏らず。良緣ならず。一生を通じては緣の變る象あり。又感情に走り人の意見を用ひずして惡緣を結び、生涯苦勞する憂ひあれば注意肝要なり。

待人　待つ時には來らずして諦めたる頃に來るべし。

戀愛　將來不幸の原因となる象あれば思切るべし。

開業　時機を得ず。見合して好期を待つべし。

轉業　轉じて却つて困窮に陷るべし。現狀を守りて時を待たば順調に向ひ來るべし。

就職　望みなし。時節を待たば自然に好機會來るべし。

旅立　故障災難の憂ひあり。見合すべし。

移轉　凶。轉じて却つて困難に陷る象あり。

訴訟　爭ふは不利。穏に解決すべし。

縺れ事　自然に任せて時節を待つべし。

病氣　危險狀態なり。天命を待つより致方なし。

壽命　中年を過ぐれば長壽を保つべきも、中年迄は注意を要す。尙不慮の死を招く惧れあれば萬事につけ警戒肝要なり。

子寶　子供に就きて辛勞多き象あるも、忍耐して善導せば晩年に至り安心幸福を得べし。

試驗　期待外れて不成績なり。

失物　出でず。

走人　遠方に走りて急に手懸りなし。氣長に便りを待つより致方なし。

天候　暴れ模樣なり。

方位吉凶、　吉方東及西北、凶方東南及西南。

䷙ 乾下艮上　山天大畜

大畜とは止め集むることの大なる義である。此卦上卦は艮にして山、下卦は乾にして天の象で、即ち山の小を以て天の大を止むるもの、又艮を止むとなし乾を大となす。即ち乾大の上進せんとするを艮を以て止むる象で、共に大畜の義である。これ此卦を名づけて大畜と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　晩運の方で、中年頃迄は辛勞艱難を免れざるも、自重して勉勵努力すれば中年過より運氣開け、晩年に至る程盛運幸福を得るものである。

現在の運勢、　これ迄の辛勞艱難散じて漸く運氣開け、諸事順調に向はんとする時にして、大切の時期なれば自重奮勵が最も肝要である。

願望　成就の機運目前に迫れる象あれば、尚事を企つるに吉、學問發達、仕官成就等の象がある。

金談　一時故障を招くも努力せば調ふ。

賣買　利あるも急進を慎しみ、形勢を見て徐々に進む心掛け肝要なり。

相場　強含みに持合ふ。

緣談　良緣なれば纏めて吉。然し成立迄には稍故障ありて長引く象あれば氣長に運ぶことが肝要である。一生を通じては幾分緣遲き方なるも、男子は內助の功ある賢夫人を得、女子は將來功を遂げ名を揚げる有望なる夫に添ひて共に幸福を得る運勢がある。

待人　突然の故障を生じて遲るゝ象あるも、暫く待たば來るべし。

戀愛　成功すべし。然し急ぐべからず。

開業　開業當時は多少難關を免れざる象あるも、將來有望なれば始めて吉。

轉業　暫く現狀を守りて時を待つべし。然らば自然に幸運の道開け來るべし。

就職　稍長引く象あるも好地位を得べし。

旅立　旅程順調に運ぶべし。出でゝ吉。

移轉　差支へなきも今暫く時期を待つ方有利なり。

訴訟　勝つ。然し何れかと云へば爭はざる方有利なり。

縺れ事　急がずして穩に運ばゞ都合よく解決すべし。

病氣　今が峠なれば茲を大切にせば日ならず恢復すべし。

壽命　健康にして長壽なり。然し少青年時代に無理せざる樣注意すること大切なり。

子寶　優秀にして將來有望の兒女を多く得べし。

試驗　勉强の功現れて豫期以上に好成績を得べし。

失物　何かの下積になれる象なり。北を中心に東より又は西よりの方角を尋ぬべし。

走人　誘惑されたる象なり。暫く待たば手懸りか便あるべし。

天候　晴る。

方位吉凶、　吉方東北及西北、凶方西及西南。

䷚ 震下艮上　山雷　頤

頤とは養ふの義である。此卦、上九の一陽は上腮に當り、四五兩陰は上齒に當り、初九の一陽は下腮に當り、二三兩陰は下齒に當る。而して上卦は艮にして止り、下卦は震にして動く。その狀恰も口の物を食ふが如し。是れ此卦を名づけて頤と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　吉運の生れなるも、言動愼しみを欠き不正に走りて運氣を破り、殊に中年時代には身上變動の惧れがあるから、身を愼しみ正道を守りて運氣を全うする心掛けが肝要である。尙獨立の事に適せず。共同事又は目上に從ひて成功する象がある。

現在の運勢、　言動愼しみを欠きて身を過ち運氣を破る憂ひがあるから、身を愼しみ正しきを守る心掛けが肝要である。尙、不養生の病難、目下の災ひ、疑心よりの災ひ、爭事に注意を要する。

願望　調ひ難し。然し人に依賴して或は調ふことあり。

金談　先方に疑心ある故に調ひ難し。

賣買　見込違ひ又は行違ひを生じて損失を招く惧れあれば細心の注意を要す。

相場　目先上りて後持合ふ。

緣談　双方の手違ひより破談に終る憂ひあり。而して强いて求むる程の良緣にあらず。一生を通じては緣運惡しき方にはあらざるも、相互に愼しみを欠く爲に不幸を見る惧れあれば注意を要す。

待人　違約して來らず。

戀愛　双方に疑心あるか見得を張る爲に成立せざる象あり。若し成立するも永續せず。

開業　共同事業は吉なるも獨立事業は見合す方吉。尙故障を生じて實現不可能に終る象あり。

轉業　凶、現狀を守るべし。

就職　調はず。時節を待つべし。

旅立　故障の象あり。出でざる方吉。

移轉　凶、現狀を守るべし。

訴訟　爭ふは双方共に不利なるも、互に意地張りて最後迄進む象あり。

紐れ事　互に意地張りて益〻紛糾せしむる象あり。冷靜に談合ふこと肝要なり。

病氣　さして重症ならざるも療養を怠りて失敗する憂ひあれば注意。消化器病又は食當りなり。

壽命　長壽の方なるも不攝生の爲に天壽を全うせざる象あれば注意肝要なり。

子寶　少き方なり。生るゝも養育上失敗する惧れあり。特に飲食に注意大切なり。

試驗　不成績なり。病難にて受驗不可能となる憂ひあれば特に攝生に注意すること肝要なり。

失物　物忘れか思違ひの象あり。何かの中にある故今一度落着きて尋ぬべし。

走人　居所定らず流浪せる象あり。西又は東南を尋ぬべし。

天候　定らず。一暴れ暴れて後晴るべし。

方位吉凶　吉方東又は東北、凶方西又は西南。

䷛ 巽下兌上　澤風大過

大過とは陽の大陰の小よりも過ぎたる義である。此卦、卦體内四陽にして外二陰、陽の數、陰の數に過ぐ。易に於いては陽を大となし陰を小となす。即ち、大、小に過ぐるなり。故に此卦を名づけて大過と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　中年頃迄は吉運順調なるも、分外に走り輕擧妄動に流れて失敗蹉跌し、中年後晩年へかけて困窮に陷る象あれば、分を守り堅實を旨として折角の運氣を破らざること肝要なり。

現存の運勢、　分外に走り大事を企て、思惑齟齬して進退に窮し、焦燥りて益〻深みへ陷る象あれば輕擧妄動を慎しみ平靜に善後策を講ずることが肝要である。尙、心の迷ひよりの失敗、身上の動搖

契約文書の間違ひ、水難等を招く憂ひあれば注意を要する。

願望　大望に過ぎ餘りに手易く考ふる爲に成就せず。

金　談　望み大に過ぎて調はず。金額を減じ方面を變へて運動して見るべし。

賣　買　力以上に進み又は輕卒より見込違ひを生じて損失を招く象あり。賣買共に見合す方吉。

相　場　下る。暴落の惧れあり。

緣　談　纏り難し。強いて纏むるも永續せず。一生を通じては、性格一致せず家庭のことに無頓着なる連合ひに添ひ、和合を欠くか又は緣の變る象あり。

待　人　來らず。

戀　愛　成功せず。若し成功することあるも間もなく破るゝべし。

開　業　損失に終りて永續せず。見合すべし。

轉　業　轉業後直に吉兆を得難きも、事情己むを得ざる象なれば思切つて轉業し大いに奮闘すべし。

就　職　定るが如く見えて定らず。望み大に過ぎ努力足らざる爲なり。

旅　立　途中故障に逢ひて目的達せず、費用倒れの象あれば見合す方吉なり。

移　轉　動かざる方吉なるも、己むを得ざる象なり。

訴　訟　勝み少なく爭ふは不利なるも、和解の望みなく行く所迄行く象あり。

縺れ事　解決着かず、益大事となるか、物別れとなる象あり。出來るだけ温和を守るを吉とす。

病　氣　重し。危險の象あれば極力手當を盡すべし。

壽　命　體質弱く中年前後に危險の惧れあり。然し充分健康に注意せば思ひの外長壽を保つべし。

子　寶　子供はあるも、意見合はずして不和なるか、夭折する憂ひあれば注意肝要なり。

試　驗　意外に不成績なり。

失　物　出で難し。人手に渡れる象なり。

走　人　爭ひて出でたる象なり。思ひの外遠方に走れり。居所分明するも歸り難し。

天　候　險惡にして大暴れ又は洪水の惧れあり。

方位吉凶　吉方西及西南、凶方西北。

坎下坎上　坎爲水

坎とは險難憂苦の義である。此卦、上卦下卦共に坎、坎を陷となし險となす。今上下坎を重ぬるは險難にして憂苦あるの象である。故に此卦を名づけて坎と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　中年頃迄は逆境に處し、幾多の艱難危險に遭遇し萬事意の如くならざる象あるも、忍耐努力して此艱難と戰はゞ、中年迄の逆運艱苦は却て幸福の基となり、中年後漸次運氣開け、晩年に至る程盛運幸福を得るに至るものである。

現在の運勢、　萬事意の如くならず、憂苦艱難に陷れる運勢なるも、勇氣を失はず忍耐努力して奮鬪し、暫く時節を待てば、自然に開運の時期が到來するものである。尙、住所不安、身上の浮沈變動家庭の縺れ、爭事、色情の過ち、病難、盜難等に注意を要する。

願望　直に調はざるも、忍耐努力して時節を待たば調ふ望みあり。

金談　調はず。暫く時節を待つべし。

賣買　故障困難ありて失敗損失を招く象あり。形勢を觀望して暫く時機を待つべし。

相場　惡材料續出して下落すべし。

緣談　故障妨害ありて成立困難なり。緣としては將來は幸福なるも結婚後可なり苦勞を免しざる象あり。一生を通じては、中年頃迄は周圍の事情の爲に辛勞困難多く、意志弱き時は緣の變る懼れあり。然し相互の意志强くよく忍耐せば、中年後には運氣開け圓滿幸福を得べし。

待人　故障ありて來らず。時日を變へて來る象あり。

戀愛　成功至難なるも、相互の心固くあらゆる障碍と戰ふ決心あらば遂に成功すべし。

開業　今暫く時期を待ちて開業する方有利なり。

轉業　凶。現狀を守りて忍耐努力すべし。

就職　急に望みなし。時節を待つべし。

旅立　時期惡し。少し延したる方吉なり。

移轉　事情己むを得ざる象あるも、なるべくは現狀を守る方吉なり。

訴訟　勝み少なし。若し勝利を得るも非常に長引きて結局不利なり。

縺れ事　尙紛糾を免れざるも、忍耐を守りて氣長に運ばゞ次第に解決の希望を生ずべし。

病氣　重態危險の象なるも、養生充分に屆き長持ちせば恢復の望みあり。

壽命　體質弱く屢々病氣に犯さるゝ象あるも、身體を大切にし、攝生を充分に守らば、體質一變して中年後强健となり、思ひの外長壽を保つべし。

子寶　子供少き方にて病弱の象あれば、養育上特別の注意肝要なり。

試驗　不成績なるも、勇氣を落さず大いに勉强せば、却て將來の爲となるべし。

失物　盜難にかゝれる象なり。時日を經過して後出づることあり。

走人　消足長く不明なるべし。若し早く知れたる時は生命に危險あり。方角南又は北。
天候　雨天か、險惡なる天候續くべし。
方位吉凶　吉方東及北、凶方南及西南。

䷝ 離下離上　離爲火

離とは物に附く義。又明なる義である。此卦、上卦下卦共に離、離を火となす。火は氣にして形なく物に附きて始めて形を現すものである。又離を明となす。故に此卦を名づけて離と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、盛運の生れなるも、我意剛情に走りて人の意見を用ゐず、大功を夢み驕慢粗大に流れて折角の運氣を破り、逆境に陷る憂ひがあるから、身を慎しみ堅實を守ることが肝要である。

現在の運勢、外觀盛んに見えて內實伴はざる象があり、兎角調子に乘過ぎ性急に走りて失敗災害を招く惧れあれば、穩健着實を守ることが大切である。尙、共同事、目前の小事は吉なるも、目下の災ひ、短慮の過ち、女難、散財、火難等に注意を要す。

願望　功を焦燥りて調はざる象あり。落着きて進まば望みあり。
金談　小金は調ふも大金は調はず。
賣買　利を急ぎ時機を過りて損失を招く象あれば冷靜を要す。
相場　上る。但し現在高値强き時は崩るゝ象あれば警戒を要す。
緣談　調ひさうに見えて破るゝ象あり。一生を通じては男子は美人を妻とし、女子は才子にして敏腕家の夫に添ふ象あるも、互に短氣の爲に緣を破る憂ひあれば慎しみを要す。
待人　來るものならば直に來るも、長引く時は來らず。
戀愛　一度は成立するも、相互の我儘より破るゝ惧れあれば慎しみを要す。
開業　急がずして時期を待つ方吉なり。
轉業　不利なり。現狀を守るべし。
就職　直に定らざれば當分望みなし。
旅立　今少し延す方宜し。
移轉　現狀を守るを吉とす。

訴訟　不利なり。爭はざるを吉とす。

縺れ事　性急に走り解決を急ぐ爲に一層紛糾する象あり。氣長に運ぶこと肝要なり。

病氣　重態にして目先急變の惧れあれば注意を要す。特に發熱を警戒すべし。

壽命　强健なるも二十歳頃、四十歳前後に急變の惧れあり。五十歳を過ぐれば非常に長命なり。

子寶　明敏强壯の兒女を得べきも、養育を過りて我儘つ子とする憂ひあれば注意を要す。

試驗　成績進歩するも慢心を慎しむべし。

失物　二三日中に出でざれば望みなし。南か北を尋ぬべし。

走人　感情非常に興奮せる象あり。早く尋ねざれば危險の惧れあり。南を尋ぬべし。

天候　晴天續く。夏期ならば酷暑なり。

方位吉凶　吉方南及東南、凶方西及北。

艮下兌上　澤山　咸

咸とは感ずるの義である。此卦、上卦は兌にして少女となし、下卦は艮にして少男となす。即ち少男を以て少女に下るものにして、男女相感ずるの象である。又艮を山となし兌を澤となす。艮山の氣は下り、兌澤の氣は上る。即ち二氣交感するの象にして、亦感の義あり。是れ此卦を名づけて咸と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、篤實貞正を守りて進めば、運氣次第に進み、生涯平安を得べき運勢であるが、山氣を出し誠實を失ふことあれば、折角の運氣を破る憂ひあれば慎しみが肝要である。

現在の運勢、運氣平順にして吉兆の時なるも、情實に囚はれ不正に陷りて災害不利を招くに至る惧れがあるから慎しむべきである。尙、相談事依賴事の調ふ象、共同事吉、身上發展、良緣成立等の象あるも、無益の散財、色情の過ち、迷事等に注意を要する。

願望　調ふ。親しき人に計らば便宜を得べし。

金談　調ふも金の手に入りし爲に身を過つ憂ひあれば慎しむべし。

賣買　利あり。進みて吉。但し山氣を慎しみ餘り色々と手を擴げ過ぎざること肝要なり。

相場　好調氣配にて持合ふべし。

緣談　良緣にして纏る。一生を通じては相互共に情愛深く圓滿幸福を得べし。

待人　吉報を齎らして來る。
戀愛　相思の仲にして成立疑ひなし。
開業　經驗ある知人に相談し、贊成を得ば始めて宜し。特に共同事業は吉なり。
轉業　自分だけの考へにて轉ずるは不可。周圍の贊同を得てならば宜し。
就職　調ふ。好地位を得べし。
旅立　旅程平安なり。出でゝ吉。
移轉　家族の意見一致の上ならば宜し。然らざれば不可。
訴訟　仲人に任せ示談する方有利なり。
縺れ事　直接事に當らず、人に任せて解決する樣に計るべし。
病氣　神經を起さず、醫師を信じて養生せば全快すべし。
壽命　長壽の生れなるも、酒色を慎しまざる爲に天壽を全うせざる憂ひあれば慎しむべし。
子寶　子福長者の象あり。
試驗　好成績なり。
失物　人手に渡れる象あるも正直なる人故出づ。
走人　色情關係にて同伴者あり。間もなく歸るべし。
天候　好晴續きたる上雨となるべし。
方位吉凶　吉方西及東北、凶方東南及西南。

巽下震上　雷風　恒

恒とは常にして久しき義である。此卦、上卦は震にして雷の象、下卦は巽にして風の象で、即ち雷風相與みして萬物を化育し、生々息むことなく、一定不易の象にして恒の義である。又、震を長男となし巽を長女となす。即ち長男上に位して外に活動し、長女下にありて內を守る。これ位正しく道齊ひ、恒久不變の常道にして、亦恒の義である。これ此卦を名づけて恒と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　運氣平順の生れで、父祖の業を繼ぎて他に心を動かさず、身を守ること固ければ、運氣漸次に發展昇進し、生涯平安無事を得るものであるが、急功を望み分外に走りて守ること固からざれば折角の運氣を破りて辛勞困難に陷る象あれば慎しみが肝要である。

現在の運勢、　運氣平安にして漸次發展の望みある時なれば、他に心を亂さず現狀を守り努力を怠らざる心掛けが肝要である。尙、家運繁榮、共同事吉、舊事は吉、新事は凶等の象がある。

願望　調ふ。親交の人に謀らば便宜を得べし。

金談　稍長引く象あるも調ふ。急ぐは不可。

賣買　從來經驗あることは利あるも、新しきことは損失の惧れあれば進むべからず。

相場　持合相場なり。

緣談　良緣にして纏るべし。一生を通じては緣運よく、圓滿幸福を得て家運繁榮すべし。

待人　必ず來る。

戀愛　成功して圓滿に永續すべし。然し成功を急ぐべからず。

開業　經驗あることは始めて吉なるも、新しき事は不可なり。

轉業　絕對に不可。固く現狀を守るべし。

就職　親しき人の盡力によりて調ふ望みあり。

旅立　これ迄旅行せることとある所ならば差支へなきも、新方面は見合せたる方宜し。

移轉　凶。現狀を守るべし。

訴訟　爭ふは絕對に不利、圓滿に解決すべし。

縺れ事　溫和に運ばゞ無事に解決すべし。

病氣　稍長引くも恢復すべし、養生を怠る時は慢性となる惧れあれば注意肝要なり。

壽命　强健にして長壽なり。

子寶　兒女多く、溫良實直の子供を得て家運繁榮すべし。

試驗　成績に變りなし。

失物　直には出でざるも時經て出づべし。

走人　稍時を經て歸る。西又は南を尋ぬべし。

天候　當分變化なし。

方位吉凶　吉方東及東南、凶方西及西北。

䷠　艮下乾上　天山遯

遯とは遁れ去るの義である。此卦、上卦は乾にして天、下卦は艮にして山、即ち山高くして天に逼

らんとするも、天は高く遁れて山近づく能はざる象にして、遯の義である。又、卦體よりこれを見れば、二陰下に長じて勢ひ漸く盛んならんとし四陽これを避けて逃れ去らんとする象にして、亦遯の義である。故に此卦を名づけて遯と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　中年頃迄は吉運の方なるも、中年後衰運に陷る憂ひあれば、身を慎しみ堅實を守ることが肝要である。尚男子は養子となり、女子は婿取りとなりて家を繼ぐものが多い。

現在の運勢、　運氣傾き困窮に陷らんとする時なれば、進むを戒め退き守りて安泰を計る心掛けが肝要である。尚、理ありて非に陷る象、身上變動、女難又は目下の禍ひ等に注意を要する。

願望　妨ぐる者ありて調はず。

金談　調はず。女子の妨げある象あり。

賣買　損失の象あり。見合すべし。

相場　下放る。

緣談　纏る如く見えて破談となる象あり。良緣ならず。一生を通じては中年頃迄は先づ幸福の方なるも。中年後不幸に陷り、緣變るか死別する憂ひあり。

待人　來らず。

戀愛　成功せず。背負投げを喰さるゝ象あり。

開業　時期惡しく失敗に終る。見合すべし。

轉業　業務變動を免れざる象あるも、直に新業務に就くは時機不利なれば、暫く形勢を見るべし。

就職　反對者又は妨害者ありて成功せず。

旅立　出でざる方吉なり。

移轉　事情己むを得ざる象なり。思切りよく轉ずべし。

訴訟　破る。讓歩して早く示談する方有利なり。

縺れ事　一日も早く渦中より脫する樣努むべし。然らざれば意外の災ひを招く惧れあり。

病氣　全快望み難し。極力手を盡して天命を待つより致方なし。

壽命　早世の憂ひあり。三十歲前後及び四十歲前後を特に注意すべし。

子寶　子供運惡しく、子供なきか生るゝも病弱にして養育非常に困難の象あり。

試驗　不成績にして落第の惧れあり。

失物　落したるか、人手に渡れる象にして出で難し。

走人　遠方に走れり。當分歸る望みなし。
天候　一變すべし。好晴より險惡なる天候に變ずること多し。
方位吉凶、　吉方東北及西北、凶方西及西南。

䷡　乾下震上　雷天大壯

大壯とは勢ひ盛んなる義であるが、一面剛に過ぐる意がある。此卦、上卦は震にして雷、下卦は乾にして天の象で、即ち雷天上に奮ふ象にして大壯の義である。又卦體、四陽、下に長じて二陰上に盡きんとするは、勢ひ盛んなる象にして亦大壯の義である。これ此卦を名づけて大壯と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　人に優れたる天分を受け、發展立身すべき運勢なるも、才能に誇りて慢心し、謙讓の心掛けを忘れ、急功を望み分外に走りて折角の運勢を破る惧れがあるから慎しみが肝要であり、特に青年中年時代に血氣に速りて失敗災害を招く憂ひがあるから注意を要する。

現在の運勢、　盛運の時なるも、力量を恃みて血氣に速り、分外の大望を抱きて失敗災害を招く憂ひがあるから慎しみが肝要である。尚、短氣の過ち、爭事に注意を要する。
願望　調ふ望みあるも、温和謙讓の德を缺きて破れを招く象あれば慎しみが大切である。
金談　望み大に過ぎて調はざる象あり、分相應のことは調ふべし。
賣買　利あるも調子に乘過ぎて失敗を招く象あれば注意を要す。
相場　暴騰す。然し暴騰後は警戒を要す。
緣談　先方の心持ちを害して纏らざる惧れあれば注意を要す。一生を通じては表面上社會的には幸福なるも、內面に於いては相互間に和合を缺く象あり。
待人　氣長に待つべし。
戀愛　感情に走り過ぎて成立するものを破る象あれば慎しむべし。
開業　始めて宜しきも、準備完成せざる中に開業を焦燥りて失敗する憂ひあれば注意を要す。
轉業　現狀を守りて暫く時期を待つを吉とす。
就職　焦燥り過ぎ又は分外の地位を望みて調はざる象あれば注意を要す。
旅立　暫く見合す方吉なり。

移轉　なるべく現狀を守るを吉とす。

訴訟　油斷より破る、憂ひあり。示談する方有利なり。

縺れ事　短氣に走り益々紛糾せしむる象あれば、氣長に解決を計ること肝要なり。

病氣　病勢頂上に達せる象なり。此際の養生宜しくば全快すべし。

壽命　長壽の生れなるも不攝生より天壽を全うせざる象あり。特に二十歳頃より三十歳迄を注意。

子寶　强健なる兒女多し、然し敎育を過らざる注意大切なり。

試驗　成績は進步するも、慢心を生じて將來の不利を招く憂ひあれば愼しむべし。

失物　物品は出づる望みあるも金錢は出でず。

走人　遠方に走れり。東又は西北を尋ぬべし。

天候　晴る。雷雨の象あり。

方位吉凶、　吉方東及西北、凶方東南及西南。

坤下
離上

火地晉

晉とは進み昇る義である。此卦、上卦は離にして日、下卦は坤にして地である。即ち日地上に進み出で、光明盛大なるの象にして晉の義である。又、離は明にして坤は順、即ち上、明にして下これに順ふものにして、君臣相和し文化進むの象で、亦晉の義である。これ此卦を名づけて晉と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　幸運の生れで特に目上の引立を受け、名を擧げ功を遂げ又發明發見によりて名聲を擧げる象があるが、心驕り我意に走りて運氣を破る憂ひあれば愼しみが肝要である。

現在の運勢、　運氣盛にして活氣に滿ち、特に目上の助力引立を得て發展昇進する運氣あるも、我意に走り人の意見を用ゐずして失敗災害を招く憂ひあれば注意を要する。尙、名聲を揚ぐる象、願望成就、共同事吉等の象があるが、華美に流れて災ひを招く憂ひあれば注意を要する。

願望　調ふ。目上の人に依賴すべし。

金談　調ふ。
賣買　利あり。但し機を失して失敗する惧れあれば敏速に進むこと肝要なり。
相場　上る。
緣談　良緣にして纏る。一生を通じては緣運よく、男子は妻の緣故によりて運氣開け、女子は活動家にして功を遂げ名を揚ぐる夫を得る象あるも、共に容貌の美に囚れざること大切なり。
待人　來る。
戀愛　成立疑ひなし。
開業　始めて良し。然し急進を慎しみ漸進的方針を採る心掛け肝要なり。
轉業　現狀を守りて暫く時期を待たば必ず發展すべし。
就職　好地位を得、目上の引立ありて昇進すべし。
旅立　出でゝ吉。ぐづぐしして時機を逸する時は不利なり。
移轉　轉じて吉。
訴訟　勝つ訴訟なるも、爭ふよりは目上の人に任せて和解したる方結局は有利なり。
纏れ事　目上の意見に從ひ、萬事を一任せば都合よく解決すべし。

病氣　病狀進む憂ひあれば油斷すべからず。恢復と否とは今後の養生如何にあり。
壽命　健康にして長壽なり。
子寶　子寶多く、皆成功し名聲を揚ぐべし。
試驗　好成績を得べし。
失物　出づ。西か南を尋ぬべし。
走人　直に分明すべきも、當人の意見を餘り壓迫する時は再び家出する象あり。
天候　晴れて續く。
方位吉凶、　吉方西及西南、凶方北及西北。

離下　坤上　地火明夷

明夷とは明なるもの蔽はれ傷けらるゝ義である。此卦、上卦は坤にして地、下卦は離にして火で、即ち日地中に入りて光明掩はるゝ象にして明夷の義である。又人事を以て見れば、暗主上にありて明賢下に晦まさるゝ象にして、亦明夷の義である。これ此卦を名づけて明夷と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　才智明敏の生れなるも、晩運にして中年頃迄は辛勞艱難多く、不遇の象あれば、自暴自棄に流れず、忍耐努力して時運の到來を待つことが肝要である。此心掛けを守れば、中年後晩年へ掛けては運氣開け、人に優れて盛運幸福を得るに至るものである。

現在の運勢、　財寶地下に埋れる象にて、時運至らず辛勞困難に居る時なるも、忍耐自重して時節を待てば、遠からずして必ず開運通達を見るものである、尙、分外の大事を企てゝの失敗、不慮の災ひ、迷ひ事、欺かるゝ憂ひ、火難、盜難等に注意を要する。

願望　長引くも氣長に努力せば調ふ望みあり。焦燥る時は破る。

金談　差當り調はず。時節を待つべし。

賣買　時機を得ずして損失の憂ひあり、暫く形勢を觀望して好機を待つべし。

相場　初め高く後下り、其後再び上るべし。

緣談　末の見込みある緣なり。而して一時破れて後再び纏る象あり。一生を通じては、中年頃迄は色々と辛勞困難あるも、相互の心固からば中年後運氣開けて幸福を得べし。

待人　直には來らず。時を經て來る。

戀愛　未だ相互の理解充分ならざる故に成功せず。心の解合ふ迄交際すべし。

開業　未だ時機を得ず。數年後迄待つべし。

轉業　不可。現狀を守りて時節を待つべし。

就職　急に望みなし。修養に努めて時節を待たば好地位を得る望みあり。

旅立　時期惡し。暫く延期すべし。

移轉　現狀を守る方吉なり。

訴訟　破る。爭ふべからず。

縺れ事、焦燥らば益々紛糾すべし。自然に任せて時節を待つべし。

病氣　全快の見込みあるも長引く、神經を勞して經過を不良ならしむる象あれば注意。

壽命　長壽の生れなるも、青年頃迄は病弱なるか、無理をして天壽を縮むる憂ひあれば注意。

子寶　實直にして將來有望の兒女を得べし。

試驗　實力より見て不成績なり。

失物　何かに紛れ込みたる後人手に渡りたる象なり。出で難し。

走人　暫く行方不明なり。而して行先にて辛勞困難の結果便りあるべし。

天候　暫く曇天又は雨天續きたる後晴る。
方位吉凶、　吉方東及西、凶方東南及東北。

䷤　離下巽上　風火家人

家人とは一家の人を統べ治むる義である。此卦、上卦は巽、下卦は離、離を火となし、巽を木となし風となす。即ち離火巽木を得て生じ、火は風を得て其勢ひ益々熾んなる象で、風は陰氣にして火は陽氣である。是れ陰陽互に相助益するものにして、家人戮力の象である。又、巽を長女となし離を中女となす。今長女上に位し中女下に居るは、長幼の序正しきを得たるもので、女子正しきを得るは男子正しきが故であつて、即ち家道正しき象であり、共に家人の義にして此卦を家人と名づくる所以である。

占斷

一代の運勢、　父祖の業を繼ぎ、生涯平安順調の運勢であるが、若し自己の境遇に不滿を抱きて分外の望みを抱き、又は本業以外の事に手を出す樣なことがあると、折角の運氣を破りて身上波瀾を生じ、辛勞困難に陥る象があるから慎しみが肝要である。尚、男子にして家を繼がざるものは養子となり、女子は婿取り又は分家戸主となるものが多い。

現在の運勢、　平安無事の運勢であるが、分外に走り新事に手を出して失敗災害を招く憂ひあれば慎しみが肝要である。尚、家庭の慶事吉兆、金運、目上の助力引立等を得る象がある。

願望　調ふも調子に乘らざる樣慎しむべし。
金談　身内又は親交ある人に謀らば調ふ。
賣買　利あり。但し分に應じて進むべし。
相場　初め上り後下る。
縁談　良縁にして繼る。一生を通じては縁運よく、夫婦和合を得て家運繁榮すべし。
待人　吉報を齎して來る。
戀愛　相思の仲なり。成功疑ひなし。
開業　始めて吉。追々繁榮に向ふべし。然し經驗なき事は失敗の象あれば見合すべし。
轉業　凶。固く現在の業務を守るべし。
就職　他の愛顧引立を得て好地位を得べし。

旅　立　遊山の旅行は平安にして吉なるも、營利的の旅行は出でざる方却つて有利なり。
移　轉　現狀を守る方吉なり。
訴　訟　爭ふは不利なり、温和に解決すべし。
縺れ事　温和に運ばゝ無事解決して安心を得べし。
病　氣　心配なし。間もなく全快すべし。
壽　命　健康長壽なり。
子　寶　子福長者にして家運繁榮すべし。
試　驗　成績良好の方なるも從前と大して變化なし。
失　物　家の中にあり。仕舞ひ忘れたるなり。東より南へかけての方角を尋ぬべし。
走　人　家庭戀しくなりて間もなく歸り來るべし。
天　候　穩かなる日和續く。
方位吉凶、　吉方東南及南、凶方東及北。

兌下離上　火澤　睽

睽とは背き違ひて離るゝ義である。此卦、上卦は離、下卦は兌、兌を澤となし、離を火となす、火は炎上し澤は潤下す。二者その性相背き違ひて合せず、是れ睽の義である。又離を中女となし兌を少女となす。即ち二女同居して心を異にする象にて亦睽の義である。故に此卦を名づけて睽と稱する所以である。

占　斷

一代の運氣、　癖僻强く勝氣に過ぎ、短氣に流れて人と和合を缺き、爲に運氣を破り困難に陷る象あれば、精神の修養に努め人と親和を計る心掛けが肝要である。
現在の運勢、　運氣思はしからず諸事意の如く運ばざる象あれば、忍耐温和を第一とし過ちを招かざる心掛けが肝要である。尙、身内家庭間の不和、爭事、親交ある者との疎隔、苦情事、小事は吉大事は凶、物事の手違ひ又は行違ひ、過失事等に注意を要する。
願　望　調はず。但し小事は調ふことあり。

金談　調はず。特に成立間際にて破るゝこと多し。
賣買　見込違ひ又は苦情を生じて損失に終る象あり。見合すべし。
相場　下りて後上る。
緣談　纏り難し。良緣ならざれば見合せたる方宜し。一生を通じては緣遠惡しく、常に平和を缺き波風多きか再三緣の變る憂ひあり。
待人　來らず。若し來るとも結果惡し。
戀愛　成立の望みなし。萬一成功するとも辛勞苦情多くして永續せず。
開業　失敗に終る。見合すべし。
轉業　己むを得ざる象あるも、轉業後却つて苦しみ多し。出來得る限り現狀を守る方吉なり。
就職　當外れて當分望みなし。
旅立　目的外るゝか、故障災難に遇ふ象あれば見合すべし。
移轉　現狀を守る方吉なり。
訴訟　豫想外れて破る。爭ふは不可。
縺れ事　感情疎隔し意外の事情生じて益紛糾する惧れあり。誠實細心に進むこと肝要なり。
病氣　經過不良なり　醫師適合せざるか見立違ひの象あれば醫師を變更すべし。
壽命　二十代及び四十歲前後に危險の憂ひあれば注意肝要なり。
子寶　子供緣薄き方にて、子供なきか種々辛勞多し。
試驗　意想外に不成績なり。
失物　人手に渡れる象あり。出で難し。
走人　當分分明せざる象あり。豫測と全然方角違ひの所に走れり。
天候　變る。險惡となること多し。
方位吉凶、　吉方南及西、凶方北及東北。

水山蹇

艮下坎上

蹇とは足難みて行くこと能はざる義である。此卦、上卦は坎、下卦は艮、艮は山にして坎は水である。即ち坎水前にありて進む能はず。艮山後にありて退く能はざる象にして蹇の義である。又、坎は險なり艮は止なり、即ち蹇を見て止り、犯し進まざる象にして亦蹇の義である。これ此卦を名づけて

塞と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、孤獨薄命の生れにして辛勞艱難多く、波瀾浮沈を免れざる運勢であるが、勇氣と忍耐とを失はず、獨立獨行、人を賴りとせずして運氣の開拓に努力せば、よく逆運を退け得て中年以後晩年へかけて吉運幸福を迎ふるに至るものである。

現在の運勢、衰運にして辛勞艱難多く、諸事意の如くならざる時で、焦燥れば焦燥る程益深みへ陷る象あれば、陰忍自重して開運到來の時節を待つことが肝要である。然らば機運到來し目上の助力に依りて艱難を脫するに至るものである。尙、功を急ぎての失敗災害、家庭不和、奸計に陷る象があるから注意を要する。

願望　調はず。諦めて時節を待つべし。五ケ月後に機運到來の望みあり。

金談　調はず。所謂盜人に追錢と云ふが如く無益の費用を費す象あり。

賣買　故障澁滯を生じて損失を招く。見合すべし。

相場　目先高く後下る。

緣談　纏らず。且良緣ならず。一生を通じては緣運惡しく、家庭治らずして辛勞困難多し。

待人　來らず。

戀愛　故障防碍ありて成功せず。

開業　時期を得ず失敗に終る。暫く時節を待つべし。

轉業　轉業せば益困難に陷るべし。現狀を守りて忍耐努力せば開運の時期到來すべし。

就職　當分望みなし。目上に依賴して時節を待つべし。

旅立　故障災難の憂ひあり。見合すべし。

移轉　凶。現狀を守るべし。

訴訟　非常に辛苦を重ねたる上不利に終るべし。爭ふは絕對に不可。

縺れ事　焦燥れば焦燥る程益紛糾すべし。自然に任せて時節を待つべし。

病氣　容態危險なり。長持ちせば或は恢復することあり。專心看護に手を盡すより方法なし。

壽命　五十代を過ぐれば長生きすべきも、四十代迄に危險の憂ひあれば注意大切なり。

子寶　子供緣惡しく、病弱なるか親に辛勞を懸くる象あり。

試驗　頗る不成績なり。

失物　何かの中に陷りたる象なり。出で難し。

走人　行先にて窮迫せる象あり。早く手を盡さゞれば危險の憂ひあり。方角東より北へかけて。
天候　險惡なる天候續く。
方位吉凶、　吉方北及東北、凶方南及西。

坎下震上　雷水解

解とは難み解け憂ひ散ずる義である。此卦、上卦は震、下卦は坎、坎を雨となし震を雷となす。即ち雷上に動き雨下に下り、雷雨一過欝結の氣渙散せる象にして解の義である。又、坎を險となし震を動となす。今動きて險外に出でたるは、險難解散せる象にして亦解の義である。故に此卦を名づけて解と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　晩運の生れにして、三十代位迄は色々と辛勞艱難多き象あるも、三十代過よりは運氣開け來りて晩年になる程盛運幸福を得るものであるから、中年迄不過にあるとも失望落膽せず、末を樂しみに努力奮勵する心掛けが肝要である。

現在の運勢、　久しきに渡る辛勞艱難を脱し、氣運順調に向ひ身上に喜びある時なるも、此際定心油斷せず、益〻奮勵して運氣の開發に努力することが肝要である。尚、澁滯事辛勞事の開通、目下の助力による開運、旅立吉、出産等の象あるも、機を失して失敗不利を招く憂ひあれば注意。
願望　調ふ望みあるも、安心油斷に流れ努力を缺き機を逸して不調を見る憂ひあれば注意。
金談　望みあるも猶豫して機を逸する時は不調に終る憂ひあれば、早く運ぶこと肝要なり。
賣買　賣買共に機敏に進まば利あるも、機を失して不利を招く憂ひあれば注意を要す。
相場　下放れて止る。
緣談　一時行惱む象あるも結局纏るべし。一生を通じては緣遠きか、中年頃迄は辛勞を見る象あるも中年後は圓滿幸福を得べし。
待人　故障ありて遲るゝも來る。
戀愛　故障困難あるも結局は成立すべし。尚燒棒杭に火の附くが如く舊關係の復活する象あり。
開業　機を逸せず早く開業すべし。
轉業　躊躇せず、速に轉ずべし。
就職　希望成就の時期到來せる象あり。

旅　立　出でゝ吉。延ばす時は不利なり。

移　轉　轉じて吉。

訴　訟　和解にて都合よく解決すべし。

縺れ事　情實に囚れず果斷の處置を取らば意外に早く解決すべし。

病　氣　重態なるも峠を越したる象にて追々全快に向ふべし。但し安心油斷せざること肝要なり。

壽　命　概して長壽なるも、稀には意外に早世することあり。

子　寶　子供多く良子女を得べし。但し時としては子供を得ること遲き人あり。

試　驗　好成績なり。

失　物　出づるものならば直に出づ。長引く時は出でず。方角東か北を尋ぬべし。

走　人　近日中に便りあるか、歸るべし。

天　候　一雨ありて後晴る。

方位吉凶、　吉方東及北、凶方南及東南。

䷨ 兌下艮上　山澤損

損とは減じ損ずる義である。此卦、上卦の艮は山にして上に高く、下卦の兌は澤にして下に深く、即ち下を損じ、上を益す義にして損の義である。又、卦體を以て見れば、下卦の上爻陰となり、上卦の上爻陽となるは、下卦の一陽を損じて上卦の一陰を益すものにして亦損の義である。是れ此卦を名づけて損と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　中年頃迄は不遇の境遇にありて意の如く運ばざる象あるも、立身出世の運勢備れる生れなれば、不平不滿を起さず忍耐努力して時節を待てば、中年後必ず幸運に見舞はれ立身成功を得るものであるから、呉々も自暴自棄に陷らずして陰忍自重する心掛けが肝要である。

現在の運勢、　現在は不遇にして諸事意に任せざるも、今一息にて開運の時期到來する象あれば、忍耐して時節を待つ心掛けが肝要である。尚、損して德を得る象、共同事吉、散財損失、短慮慢心の過ち、利慾に走りての災ひ等の象がある。

願望　調ふ望みあるも長引く。急ぐ時は破る。
金談　急には調はず。暫く時節を待つべし。
賣買　時期を得ずして損失の象あれば、手を出さずして暫く形勢を觀望すべし。
相場　下落す。
縁談　長引くか纏らず。暫く時節を待たば一層良縁あるべし。一生を通じては縁遲き方なり。急ぐは凶。又結婚後中年頃迄は苦勞あるも末は幸福なり。
待人　來るも遲し。當にせること外れることあり。
戀愛　感情に走り利己的に流して成功すべきものも破るゝ象あり。慎しみを守らば成立すべし。
開業　時期を得ず見合すべし。但し共同事業ならば吉なり。
轉業　凶。現狀を守りて時節を待つべし。
就職　急には望みなきも、氣長に時節を待たば思ひの外好位地を得る望みあり。
旅立　目的外るゝ象あり。見合すべし。
移轉　現狀維持を吉とす。
訴訟　不利なり。損をして德を取る考へにて和解すべし。

縺れ事　解決を急ぐは不利なり。暫く自然に任すべし。
病氣　長引くも全快の望みあり。神經を起して經過惡しきか全快間際に失敗する惧れあれば注意。
壽命　長壽の生れなるも、中年迄に不攝生の爲に天壽を破る憂ひあれば注意肝要なり。
子寶　末に望みある子女を得べし。四五人あるべし。
試驗　勉强せる割合に成績擧らざる象あり。
失物　出で難し。騷立つる時は都合惡しき立場に陷る象あれば注意すべし。
走人　長引くも自然に任さば歸る。同伴者ある象あり。
天候　暫く定らず。
方位吉凶、　吉方西及東北、凶方東及西南。

䷩ 震下巽上　風雷　益

益とは增益するの義である。此卦、上卦は巽、下卦は震、震を雷となし巽を風となす。即ち雷地中より出で風天上を行き、陰陽の二氣交合して萬物を皷動し發育を助く。益の義である。又、上卦の巽

は元乾、下卦の震は元坤にして、乾の一陽を損じて坤の一陰を益す。即ち上を損じて下を益する象にして、亦益の義となす。これ此卦を名づけて益と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　盛運の生れにして立身出世を得べく、特に金運、上位の引立を得る象あるも、運氣に驕りて慢心を生じ、怠慢游惰に流れて折角の幸運を破る憂ひがあるから慎しみが肝要であり、殊に中年前後に於いて注意を要する。

現在の運勢、　盛運に乘じ諸事順調を得る時なるも、心に驕りを生じて折角の運氣を破る象があるから慎しみが肝要である。尚、金運、人の助力引立、家運繁榮、身上發展、共同事吉、願望成就、婚姻吉等の象がある。

願望　調ふ。殊に意外の助力者を得て調ふ象あり。然し慢心を慎しむこと肝要なり。

金談　調ふ。目上に依賴せば便宜を得べし。

賣買　利あり。然し調子に乘過ざざる樣注意を要す。

相場　上りて後下る。

縁談　良縁にして纏る。一生を通じては縁運大吉にして圓滿幸福を得、家運繁榮の基を開くべし。

待人　吉報を齎して來る。

戀愛　成功す。親しき人の力を借るべし。

開業　大いに成功すべし。始めて吉。

轉業　必ずしも不可ならざれども、現狀を守りて暫く時を待たば有力なる後援者現るべし。

就職　目上の引立ありて調ふ。

旅立　出でゝ吉。旅程順調に運ぶべし。

移轉　轉じて宜し。

訴訟　勝利を得べし。

縺れ事　人の力を借りて運ばゞ都合よく解決すべし。

病氣　重きも全快すべし。然し飽く迄油斷を戒むべし。

壽命　强健にして長壽なり。

子寶　子福長者にして强健有望の子女多し。

試驗　優等の成績を得べし。然し將來の慢心を慎しむべし。

失物　出づ。東又は西南を尋ぬべし。

走、人早く手を廻さば居所分明すべし。若し不明にても行先地にて成功すべき故心配の要なし。
天候　好晴なるも風烈し。時に驟雨の惧れあり。
方位吉凶、　吉方東及東南、凶方東北及西南。

䷪ 乾下兌上　澤天夬

夬とは決するの義である。此卦、上卦は兌、下卦は乾、乾を天となし兌を澤となす。それ澤は地勢上最も低き所にあるべきものなるに、今天上の高さにあるは、決潰汎濫せんとする象にして夬の義である。又、卦體を以て見れば、五陽下にありて一陰その上に居るは、陽の勢ひ甚だ強くして將に一陰を決し去らんとする象にして、亦夬の義である。故に此卦を名づけて夬と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　中年頃迄は運氣盛んなる象あるも、中年時代に至りて挫折し、逆運困難に陥る憂ひあれば、身を慎しみ正道を守りて運氣を全うする心掛けが肝要である。
現在の運勢、　運氣方に竭き難關に陥らんとする象あれば、身を慎しみ正道を守りて逆運に陥らざる心掛けが最も肝要である。尚、不慮の災害、住所境遇の變動、利慾に迷ひての災ひ、文書契約の間違ひ、短慮の過ち等に注意を要する。
願望　調ひ難し。然し當つて碎ける覺悟にて猛進し、萬一の成功を見ることあり。
金談　調はず。將來信用を得る樣努むること肝要なり。
賣買　損失を招く見合すべし。但し從前より行掛りのことは、大決斷を以て處置し損失を免れ利を得る象あり。尚取引上契約上の間違ひに注意を要す。
相場　暴落すべし。
縁談　成否の境にあり。今一度最後の決心にて話を運び見るべし。一生を通じては縁運惡しくして波瀾浮沈烈しく、特に中年頃には縁の變る惧れあれば注意を要す。
待人　今一度催促して見るべし。それにて來らざれば望みなし。
戀愛　當つて碎ける覺悟にて强硬に意中を打明けて見るべし。
開業　機運凶なり。見合すべし。
轉業　己むを得ざる象なるも、轉業後困難多きを以てその覺悟にて奮鬪すること肝要なり。
就職　纏る如く見えて間際に破るゝ象あり。

旅　立　出でざる方吉なるも、事情切迫の象ありて遲るれば一層不利となる象あれば思切つて早く出づべし。

移　轉　現狀に止り難き象なり。早く轉じたる方有利なり。

訴　訟　破る。爭ふべからず。

縺れ事　優柔不斷に流れず果斷の處置を取ること肝要なり。

病　氣　恢復に向ふか絶望に陷るかの別れ目にあり。英斷的の處置に出づること必要なり。

壽　命　强壯に見えて不意に倒るゝ惧れあれば攝生大切なり。特に中年前後に注意を要す。

子　寶　子供なきか又は人並以上に多きか何れかの象あり。

試　驗　意外に好成績を得るか、反對に頗る不成績を見るか、極端に二途に別るゝ象あり。

失　物　出でず。諦むべゝ。

走　人　遠方に走れり、當分不明なり。女子は生命危險の惧れあり。

天　候　暴れて後晴る。

方位吉凶、　吉方西及西北、凶方東北及西南。

䷩ 巽下乾上　天風姤

姤とは期せずして相遇する義である。此卦、上卦は乾、下卦は巽、巽を風となし乾を天となす。即ち風天の下を行くの象、それ風天の下を過ぐれば萬物これに觸れざるなし。是れ姤の義である。又、卦體を以て見れば、純陽の乾中に一陰忽ち來りて五陽に遇ふ象にして、亦姤の義である。故に此卦を名づけて姤と稱する所以である。

占　斷

一代の運勢、　優柔不斷に流れて運氣伸びざる象あれば、意思の鍊磨と奮鬪力を養ふ心掛けが肝要である。然らば思ひの外成功を克ち得るものである。

現在の運勢、　四圍の事情意の如くならざる時なれば、外面は温和を守り內心を强く持ちて進むことが肝要である。尙、不慮の災ひ、女難、情實に溺れての災害、人に欺かるゝ象あれば注意を要す。

願　望　意外の故障又は妨害者現れて破るゝ象あれば注意を要す。

金　談　調達頗る困難なるも、氣長に運ぶ時は全然絶望にはあらず。成否如何は一に努力にあり。

賣買　大利は望み難きも手堅く進まば幾分利あり。但し甘言に乗りて欺かるゝ憂ひあれば注意。

相場　目先安く後上る。

縁談　凶縁なり。見合すべし。一生を通じては縁運惡しく和合を得ざるか、配偶者を見過りて不幸を見る惧れあれば注意を要す。尚男子は特に女難の象あれば慎しみ肝要なり。

待人　來るも當事外るゝ象あり。又思掛けぬ來客の爲に迷惑する象あり。

戀愛　成立するも將來に於ける辛勞不幸の原因となる象あれば思切たる方吉なり。

開業　意に任せず困難に陷る象あれば見合すべし。

轉業　今暫く時節を待つ方吉なり。

就職　急には調はず。焦燥らず時節到來を待つべし。

旅立　旅先にて意外の災難に遇ふ惧れあれば見合すべし。

移轉　不利なり。現狀を守るべし。

訴訟　不良の徒の喰物となる象あり。爭ふは不利。

縺れ事　穩に話を運ばゞ解決すべし。

病氣　急變の惧れあれば、此際細心の手當最も大切なり。

壽命　中年頃迄は柔弱の象あるも、攝生宜しくば中年後强壯となりて案外長壽を保つべし。

子寶　子供多き方なるも、女兒の素行治らざる爲に辛勞する象あれば養育上注意大切なり。

試驗　不成績なり。

失物　女の手に入りたる象あり。荒立つるは面白からず。

走人　誘惑されて家出したる象あり。平素の行動を調べ心當りを尋ぬれば分明すべし。

天候　曇天續くか雨となる。風出づれば晴る。

方位吉凶、　吉方西北及東南、凶方東及西南。

䷬ 坤下兌上　澤地　萃

萃とは聚る義である。此卦、上卦は兌、下卦は坤、坤を地となし兌を澤となす。それ澤も地もよく水を蓄ふるもの、今澤地上にあるは水來り聚る象にして萃の義である。又此卦二陽四五の要位に居り他の諸陰皆これに聚り從ふ象にして、亦萃の義である。故に此卦を名づけて萃と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、父祖の恩惠に浴し、幸福の境遇に生れたる運勢であるが、此恩惠幸福に狎れて放縱我儘に流れ、爲に運氣を亂し身を破るに至る象あれば愼しみが肝要である。尙此卦を得たる人は、實業家又は政治家として成功する運氣がある。

現在の運勢、信用身に聚り人の助力を得て幸運を得る象あれば、人に交るに信義を重んじ我意を愼しみ和順を守ることが肝要である。尙、目上の引立、金運、共同事吉等の象あるも水難に注意。

願望　他の援助、目上の引立ありて調ふ。

金談　調ふ。身内又は親しき人に計るべし。

賣買　賣買共に順調に運びて利あり。

相場　安し。

緣談　良緣にして纏る。一生を通じては緣運よく、和合圓滿を得て家運繁榮し、福慶子孫に及ぶべし。

待人　吉報を齎らして來る。

戀愛　成功疑ひなく、交情密の如くなるべし。

開業　繁昌利益の象あり。始めて良し。

轉業　轉業してよろし。

就職　纏る。將來有望の地位を得べし。

旅立　旅程順調に運ぶべく、出でゝ吉。但し水難女難に注意を要す。

移轉　轉じてよろし。

訴訟　示談調ふべし。親しき人に任すを吉とす。

縺れ事　我意を張らず人の意見に從はゞ、都合よく解決して利あり。

病氣　現在の所心配する程に非ざるも、水氣を生じたる時は病勢重る象あれば注意を要す。

壽命　健康長壽なり。

子寶　子福長者にして家運繁榮すべし。

試驗　好成績を得べし。

失物　多分數日中に出づべし。西又は南の方角にて特に水邊を尋ぬべし。

走人　西又は南の方角にて心當りの所を尋ぬべし。多分數日中に分明すべし。

天候　降雨となる象あり。洪水の惧れあれば警戒を要す。冬ならば大降雪の兆あり。

方位吉凶、吉方西及西南、凶方西北及東北。

䷭　巽下坤上　地風升

升とは進み昇る義である。此卦、上卦は坤、下卦は巽、巽を木となし坤を地となす。即ち木地中に生ずる象である。それ木の地中に生ずるや、種子地中に入り、甲を柝き芽を發し、莖を長じ枝葉を生じ、花を開き實を結ぶに至る。即ち進み昇る象にして升の義である。又巽を風となす。即ち巽風坤地の下に入る象なるが、風は元地中にあるべきものにあらざるを以て、必ず地上に發出するに至る。亦進み昇る義である。是れ此卦を名づけて升と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　高木の成長し行くが如き運勢で、必ず大成功を得べき望みあるも、晩運にして氣運の發展遲々たる象があり、中年前後迄は多少の辛勞故障を免れざる爲に、功を焦燥り忍耐を缺きて、折角の運勢を中絶する惧れがあるから、氣長に構へ忍耐努力を怠らざる心掛けが肝要である。

現在の運勢、　開運の兆が現れ、萬事追々順調に向つて行く時であるから、功を急がず徐々に運氣の開發を計ることが肝要である。尙、目上の引立、立身の端緒、南方よりの吉兆等の象がある。

願望　急に達せざるも、氣長に努力せば助力者を得て成就すべし。

金談　長引くも調ふ。南方にて便宜を得る象あり。

賣買　目先の利を求むることは不利なるも、將來を見越してのことは利あり。

相場　漸騰すべし。

緣談　良緣にして纏る望みあるも、餘り急ぐ時は破るゝ惧れあり。一生を通じては周圍の事情の爲に多少辛勞を免れざる象あるも、中年後は平和幸福を得べし。

待人　長引くも吉報を齎して來る。

戀愛　感情に走り成立を急ぐ時は破る。氣長に進まば成立すべし。

開業　始めて吉。漸次發展繁榮すべし。

轉業　不可。現狀を守りて氣長に努力せば將來必ず發展すべし。

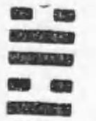
就職　豫想より長引くも望みあり。

旅立　出でゝよし。然し豫定より長引く象あり。

移轉　轉じてよし。

訴訟　長引くも勝利を得べし。

縺れ事　長引く。焦燥らず徐々に解決すべし。
病　氣　長引くも養生さへ充分に屆かば全快すべし。
壽　命　人に優れて長壽なり。
子　寶　將來有望の兒女を得べし。
試　驗　成績大いに進歩すべし。
失　物　出づ。然し非常に時日を經過したる後に出づることあり。
走　人　遠方に走れり。稍時日を經て居所分明すべし。方角東又は南。
天　候　晴天なるも風出づべし。
方位吉凶、　吉方東南及西南、凶方東及西北。



坎下兌上　澤水　困

困とは苦しみ艱む義である。此卦、上卦は兌、下卦は坎、坎を水となし兌を澤となす。即ち水澤下にあるの象。夫れ水澤上にあれば保ちて涸るゝことなさも、今澤下にあるは悉く漏れ下りて澤中水なく、涸渴の象にして困の義である。又、卦體より見れば、二の陽は初と三の二陰に蔽はれ、四五の二陽は上陰に蔽はる。陽、陰の爲に蔽はるゝは即ち困の義である。故に此卦を名づけて困と稱する所以である。

占　斷

一代の運勢、　中年頃迄は運勢惡るく、人の幾倍も艱難辛苦を重ぬる象あるも、意志を强固に持ち努力奮鬪すれば、中年後運氣開け、晩年に至れば幸福の身となることを得るものである。
現在の運勢、　衰運に陷り辛勞艱難甚しき象あるも、陰忍自重して時節を待てば、開運の期到來して今日の艱苦は他日幸福の基となるものである。尙、惡人に困めらるゝ象、物事の破れ、失敗損失節度を失ひての禍ひ、勞して功なき象等があるから注意を要する。
願　望　調はず。諦めて時節を待つべし。
金　談　調はず。無意義の費用を費して一層窮境に陷る象あれば注意あるべし。
賣　買　見込違ひ手違ひその他の故障を生じて損失の象あれば進むべからず。
相　場　下落す。
緣　談　良緣ならず且纏り難し。一生を通じては、中年頃迄は色々と辛勞困難多く、夫婦の緣にも危

機を見る象あれば、相互の間に忍耐互讓の精神を守ることが最も大切である。然らば中年後晩年にかけては幸福なる家庭を作り得るものである。

待人　來たき心は充分あるも事情の爲に來り難き象なり。

戀愛　先方に愛情なくして成立せず。

開業　時期惡るし。見合すべし。

轉業　不可。意志を强固に持ち現狀を守りて時節を待たば氣運開け來るべし。

就職　望みなし。修養を積み技倆を磨きて時節を待たば、好機運到來すべし。

旅立　旅程思ふに任せず、危險困難に逢ふ象あり。見合すべし。

移轉　現狀を守るを吉とす。

訴訟　破る。爭ふべからず。

縺れ事　容易に解決の見込なし。焦燥る時は益〻紛糾する惧れあれば忍耐して時節を待つべし。

病氣　重態にして危險の象あり。然し體質强き所あれば長引かば持直して全快の望みあり。

壽命　中年頃迄は病弱なるか、重病に犯されて危險の憂ひあるも、中年を無事に過ぐれば强健となりて意外に長壽を保つべし。

子寶　子供運惡しく、少なきか又は兒女の爲に辛勞多し。

試驗　勉强の割に不成績なり。自暴を起さず將來に希望を持ちて一層勉强すべし。

失物　人手に渡れる象なり。出でず。

走人　急に分明せず。然し行先にて困窮に陷り時を經て便りあるか歸り來るべし。

天候　旱魃の象あり。降りさうに見えて降らず。

方位吉凶、　吉方西及北、凶方南及北。

巽下坎上　水風井

井とは井戸のことで、靜に通じ又惠澤極りなき意がある。此卦、上卦は坎、下卦は巽、巽を木となし坎を水となす、夫れ木はその性水上に浮ぶものなるに今水の下にあるは、木製の器を以つて井水を汲む象にして井の義である。又、巽を入るとなし、坎を陷となす。共に井の象である。故に此卦を名づけて井と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　平運の生れで一生を通じて大した浮沈波瀾なく順調に進む象あるも、境遇に不滿を抱き自ら變化を求めて運氣を亂し、辛勞困難に陷る憂ひがあるから足ることを知りて平靜を守る心掛けが肝要である。

現在の運勢、　現狀を守りて他に心を移さゞれば、平安にして目上の助力を得、運氣開くる象あるも自己の無力を顧みずして他を助け、又は猥りに物事に手を出して失敗困難を招く象があるから注意が肝要である。

願望　大望は調はざるも、身に應じたる望みは調ふ。

金談　小金は調ふも大金は調はず。

賣買　見合して暫く時期を待つべし。特に新しきことは損失の象あれば手を出すべからず。

相場　持合相場なり。

緣談　普通の緣なり。急がずして目上に任さば纏る。一生を通じては平凡にして可もなく不可もなき象なり。

待人　長引くか又は來らず。

戀愛　強ひて成功せんとする時は無理を生じて破るゝ惧れあり。自然に任すべし。

開業　時期を得ずして失敗の象あり。見合すべし。

轉業　絕對に不可。現狀を守るべし。

就職　急に纏らず。目上に依賴して時節を待つべし。

旅立　見合す方宜し。

移轉　凶。現狀を守るべし。

訴訟　爭ふは不利なり。示談にて和解すべし。

縺れ事　小細工をせず自然の成行に任すべし。

病氣　思ひの外重態なり。輕視して取返しのつかぬ結果を見る惧れあれば充分注意を要す。

壽命　普通の壽命なり。

子寶　少き方なり。而して病弱の憂ひあれば養育上注意肝要なり。

試驗　普通の成績なり。

失物　遺失せる象なり。出で難し。

走人　北又は東南にて海岸か水邊を尋ぬべし。

天候　變化なし。

方位吉凶、　吉方北及東南、凶方東及南。

䷰　離下兌上　澤火革

革とは改り變る義である。此卦、上卦は兌、下卦は離、離を夏となし兌を秋となす。即ち夏去りて秋來るの象である。夫れ夏は萬物繁榮し秋は萬物凋落するの時にして、物の變革此時より甚しきことなし。是れ革の義である。又、離を火となし、兌を鍋釜となし水となす。水を鍋に入れ火を以て物を煮れば物皆其質を變ず。亦革の義である。故に此卦を名づけて革と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　二十歳前後又は三十歳頃より四十歳位迄の間に、一身上に大變動を生ずるが如き事情の起る象があり、此時期に於ける進退如何により一代の運勢吉凶を支配するものであるから、宜しく強固なる意志と斷乎たる處置を以て此時期に處する心掛けが肝要である。

現在の運勢、　斷然境遇方針の一新を必要とする時で、此際因循姑息に流れ其場遁れの手段を取る樣なことがあると、運氣を阻害し將來の禍根を殘すものであるから、飽く迄斷乎たる決心が必要である。尙、住所境遇の變動、爭事、火難、水難等に注意を要する。

願望　遲疑せず果斷の方針を取らば調ふべし。

金談　勇氣を缺く爲に調はざる象あり。手段方針を改め大膽に進まば調ふ望みあり。

賣買　方針を改め果斷機敏に進まば大いに利を得べし、特に新規の取引は吉兆あり。

相場　反動の兆あり。目先上りて後下る。

緣談　纏めて良し。然し從來の行掛りを改め新しき人を以て話を運ぶべし。一生を通じては緣の變る憂ひあり。特に中年前後に注意を要す。

待人　來り難し。然し今一度催促して見るべし。

戀愛　勇氣なき爲に成功せず。大膽に進むべし。

開業　迷はず思切つて始むべし。

轉業　遲疑せず一日も早く轉ずべし。

就職　現在當にせる先を思切り、改めて他方面へ運動せば意外に好都合に運ぶべし。

旅立　機を逸する惧れあり、一日も早く出づべし。

移轉　轉じて吉。一日も早き方利あり。

訴訟　勝つ。強硬に進むべし。

縺れ事　情實に囚れず、姑息に流れずして、果斷の處置に出づれば案外早く解決すべし。

病氣　病勢變ずる象ありて、絶望か快方に向ふかの境目なり。

壽命　二十歲前後及び四十歲前後を無事に經過せば非常に長壽を得べし。

子寶　有望の兒女を得べし。然し青年時代に方向を誤る憂ひあれば注意を要す。

試驗　良否何れにもせよ豫期と非常に反する象あり。

失物　早く尋ぬれば出づる望みあるも、遲るれば人手に渡りて出でず。西又は南を尋ぬべし。

走人　今の中ならば手近に居るべし。手遲れせば遠方に走りて歸らず。東南か西北を尋ぬべし。

天候　晴雨何れにしても急變する象あり。

方位吉凶、　吉方西及南、凶方北及東北。

䷱　巽下離上　火風鼎

鼎とは金屬にて製し食物を烹る器具の名である。此卦、上卦は離、下卦は巽、巽を木となし又風となし。離を火となす。即ち風を以て火を煽し、木を火中に投じて物を烹る象にして鼎の意あり。又卦體を以て見れば、初爻は鼎の足に當り、二三四爻は其胴に當り、五爻は耳に當り、上爻は弦に當りて鼎の貌をなす。故に此卦を名づけて鼎と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　中年迄は多少辛勞を免れざるも、幸運の生れにして目上の信任を受け、將來大いに功を遂げ名をなす運氣がある。尙男子は富豪の養子となり、女子は身分高き人へ嫁する象がある。

現在の運勢、　辛勞散じ運勢開けて一身の安定を得る時であるから、一層努力して運氣の開發を計ることが肝要である。尙、目上の引立、獨立の機運、家督相續、物事の開通變革等の象があるが、交際上の過ち、力とせる人の挫折等を見る憂ひがあるから注意を要する。

願望　初め困難なるも目上の力を借りて努力せば調ふ望みあり。

金談　調ふ望みあるも、成立間際に至りて僅かの手落より破るゝ憂ひあれば細心の注意を要す。

賣買　暫く形勢を眺めて後に進出する方有利なり。

相場　波瀾變動烈しくして定らず。

緣談　和合を得る良緣なり、多少紛糾するも結局は纏るべし。一生を通じては中年迄は多少波瀾あ

るも中年後は幸福を得べし。尙男子は富豪の養子となり、女子は身分高き人に嫁する象あり。

待人　間もなく來るべし。

戀愛　相互間に疑惑又は情意の疎隔ありて一時縺るゝも、後に理解ありて成立すべし。

開業　始めて吉。始めは多少困難あるも將來追々繁昌に向ふべし。

轉業　好機會なり。轉ずべし。

就職　目上の引立ありて好地位を得べし。

旅立　旅程順調に運ぶべし。出でゝよし。

移轉　轉じて吉。

訴訟　長引くも和解成立すべし。

縺れ事　適當なる仲人を選びて一任せば直に都合よく解決すべし。

病氣　長引く象あるも全快すべし。但し急變を示す時は危險なれば警戒を要す。

壽命　長壽の生れなるも、中年頃迄は身體を大切にすること肝要なり。

子寶　功を遂げ家名を揚ぐる兒女を得べし。

試驗　勉强の功現れて好成績を得べし。

失物　出づる望みあり。西より南へかけての方角を尋ぬべし。

走人　間もなく歸るべし。心配に及ばず。

天候　暴れ氣味の後好晴となるべし。

方位吉凶、　吉方南及東南、凶方北及東北。

䷲ 震下震上　震爲雷

震とは震ひ動くの義である。此卦、上卦下卦共に震、震を雷となす。即ち震雷相重れる象で、雷の性は震ひ動くものにして震の義がある。又卦體を以て見れば、一陽初めて二陰の下に生じ、震ひ動きて上に出づるの象にして亦震の義である。是れ此卦を名づけて震と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　運勢盛んなる生れにして、大事業を遂げ名を揚ぐる象あるも、勢ひに乘過ぎて終りを全うせざる惧れあれば愼しみが肝要であり。特に四十歳より五十歳へかけての時期に注意を要する

現在の運勢、　盛運に乘せる時で、奮勵事に從へば百事大いに功を遂ぐる象あるも。調子に乘りて妄

進し、折角の運氣を破る惧れがあるから慎しみが肝要である。尚、短慮の過ち、諸事始めありて終りなき象、慢心よりの災ひ等に注意を要する。

願望　内に細心を忘れずして大膽に進まば調ふ。但し調子に乗らざること肝要なり。

金談　初め有望に見えて後に手違ひとなる象あれば、急がず細心慎重に進むこと大切なり。

賣買　利あり。但し機敏に進むこと肝要なり。又利を追ひ過ぎて損失を招く象あれば注意。

相場　暴騰の象あるも高値は警戒を要す。

縁談　纏る望みあるも色々と故障を生ずる象ありて、焦燥りて破れを招く惧れあれば注意を要す。

一代を通じては短慮より縁を破る憂ひあれば慎しみ肝要なり。

待人　直に來るか、然らざれば思掛けなき事情を生じて來らざる象あり。

戀愛　一度は成立するも、相互の我儘より破るゝか又は複雜なる事情を生じて辛勞を招く象あり。

開業　大いに成功する望みあり。始めて吉。然し開業當時は相當の困難を覺悟すべく、尚成功後調子に乗らざる心掛け肝要なり。

轉業　事情己むを得ざる象あり。然し轉業後も容易に安定せざる象あれば充分の覺悟を要す。

就職　好地位を得べきも慢心を慎しむべし。

旅立　出でゝよし。然し油斷不注意より過失災害を招く慢れあれば注意肝要なり。

移轉　轉じて吉。

訴訟　勝利を得べきも油斷を戒むべし。

縺れ事　紛糾して解決困難の象あるも、果斷の處置に出づれば都合よく解決すべし。

病氣　病勢進む象あり。發熱に特に注意を要す。

壽命　强健にして長壽なるも、六十歳前後は注意を要す。

子寶　兒女多く、敎育宜しきを得ば大いに成功すべし。然し敎育を過る時は横道へ反れる憂ひあれば注意肝要なり。

試驗　非常に好成績を得べきも、慢心油斷に流れざること肝要なり。

失物　人手に渡りたる象あり。出で難し。

走人　遠方へ走れり。東を中心に南か北よりにて心當りを尋ぬべし。

天候　晴天なるも雷雨來る惧れあり。

方位吉凶、　吉方東及南、凶方西及北。

䷳ 艮下艮上　艮爲山

艮とは止るの義である。此卦、上卦下卦共に艮、艮を山となす。即ち兩山對立して往來することなく、親しむことなき象にして、艮の義である。又卦體を以て見れば、一陽二陰の上に止り、陽の性上るものなりと雖も、今上るに所なき象にして、亦艮の義となす。故に此卦を名づけて艮と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　晩運の生れで、中年頃迄は運勢振はず、艱難辛勞多くして諸事意に任せざる象あるも

よく忍耐努力して時を待てば、中年後より運勢開け初め、晩年に至りて吉運幸福を得るものである

現在の運勢、　運氣澁滯して諸事意に任せず、辛勞艱難多き時なれば、舊を守りて時節を待つことが

肝要である。尙、新事凶、頭部顏面の病氣又は負傷、當事外れ、物事の延滯、爭事等に注意。

願望　故障を生じて勞して調はず。

金談　長引きて結局調はず。

賣買　順調に運ばず。暫く時節を待つべし。

相場　上りて後持合ふ。

緣談　和合を得ざる象ありて良緣ならず。又故障澁滯勝ちに流れて纏り難し。一代を通じては情意一致せざる連合ひに添ひて、和合を缺き不幸を見る憂ひあれば注意肝要なり。

待人　故障を生じて非常に長引くか、又は來らず。

戀愛　成立望み難し。若し成立するとも四圍の事情並に、相互の性格の不一致より破るべし。

開業　時期を得ずして故障多し。見合すべし。

轉業　凶。舊を守るべし。

就職　纏らず。修養に心掛け時節を待つべし。

旅立　出先にて故障續出して長引く象あり。出でざる方吉なり。

移轉　凶。現狀を守るべし。

訴訟　長引きて結局不利に終るべし。

縺れ事　色々と面倒を生じて長引き、容易に解決せず。焦燥らずして時節を待つべし。

病氣　長引く、慢性となる憂ひあれば、焦燥らずして徹底的に療養すること肝要なり。

壽命　四十代を無事に經過せば案外長壽を得べきも、四十代迄に危險の惧れあれば注意肝要なり。
子寶　子供緣薄き方なり、出來るとも遲し。
試驗　成績に變化なし。
失物　何かに紛れ込みたる象なり。出で難し。
走人　急に手掛りなきも、程經て自然に歸るべし。
天候　曇天續くべし。
方位吉凶、　吉方北及東北、凶方西。

䷴ 艮下巽上　風山漸

漸とは順序を以て進むの義である。此卦、上卦は巽、下卦は艮、艮を山となし巽を木となす。即ち木山上に生ずる象にして、木の長ずるや、根を地中に下し、枝幹長じ、遂に果實を結ぶに至る迄序を以て進む。これ漸の義である。又艮を少男となし巽を長女となす。即ち少男内に止りて守り、長女外に動きて歸ぐの象、これ進むに漸を以てし、征くに序を以てするもの、亦艮の義である。故に此卦を名づけて漸と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　運氣漸次に開け、小を積みて大をなし、恰も木の成長するが如き運勢にして、功を急がず分外に走らずして、堅實に漸進すれば、將來大いに盛運發達を得るものである。
現在の運勢、　漸く運氣の開き初めた時で、追々盛運に向ふ望みがあるが、功を焦燥り輕舉妄動に流れる時は、折角の運氣を破るに至るものであるから、萬事堅實に漸進する心掛けが肝要である。
願望　氣長に秩序を立て、進む時は調ふも、急ぐ時は破る。
金談　氣長に運ばゞ調ふ望みあり。
賣買　目先の利を當にすることは思はしからず。將來を目當にすることは利を得べし。
相場　漸騰すべし。
緣談　良緣にして調ふ望みあるも急ぐべからず。一代を通じては男子は貞淑にして氣性堅固の妻を得、女子は有爲にして情ある夫に添ひ共に幸福なり。
待人　來るも遲る。氣長に待つべし。
戀愛　感情に走らず、成功を急がずして眞心を盡さば必ず成立すべし。

開業　始めて吉。追々繁昌に向ふべし。

轉業　不可。現狀を守りて氣長に發展を計るべし。

就職　長引くも將來有望の地位を得べし。

旅立　出でゝ吉。但し豫定よりも長引く象あり。

移轉　轉じて吉。然し今暫く時期を待たば都合よき轉居先を得べし。

訴訟　長引くも勝利を得べし。

縺れ事　急がず徐々に運ばゞ、長引くも都合よく解決すべし。

病氣　病勢進み長引く象あるも、養生さへ届かば全快の望みあり。

壽命　人に優れて長壽なり。

子寶　子供運よく、強健優秀にして將來有望の兒女を多く得べし。

試驗　成績大いに進歩すべし。

失物　氣長に尋ぬれば出づ。東南又は東北にて高き所を尋ぬべし。

走人　手遲れせば遠方に走る憂ひあり。今の中に手早く尋ぬべし。方角東又は西。

天候　天氣次第に恢復し、好晴續くべし。

方位吉凶、　吉方東南及東北、凶方東及西。

䷵　兌下震上　雷澤歸妹

歸妹とは少女の歸嫁する義にして、配遇正しきを得ざる意がある。此卦、上卦は震、下卦は兌、兌を少女となし震を長男となす。即ち少女長男を慕ひ、正道を失し私情を肆にして自ら嫁せんとする象にして、婚姻の正禮に悖る。これ歸妹の義である。又兌を悅ぶとなし震を動くとなす。悅んで動く時は正しきを失するに至る。亦歸妹の義である。故に此卦を名づけて歸妹と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　幼年時代より青年時代にかけては順境に生れ幸福なるも、順境に狎れて邪道に走り、中年前後より逆境に沈みて辛勢困難に陷る象があるから、意志を強固に持ちて情慾に溺れず、身の驕りを慎しむことが肝要であり、特に二十歲前後及び三十歲前後に注意を要する。

現在の運勢、　目前の利に迷ひ、情慾に耽りて、身を過ち災害を招く象があるから、意志を強く持ち目先の利慾に迷はぬ心掛けが肝要である。尙、諸事初め吉に見えて終り凶なる象、物事の齟齬又は

中折れ、夫婦不和、女難等の憂ひがあるから注意を要する。

願望　初め成就するが如く見ゆるも、後に意外の故障齟齬を生じて調はず。

金談　當事外れて調はず。

賣買　思掛けぬ手違ひを生じて損失に終る象あり。特に取引契約上の間違ひに注意を要す。

相場　初め上り後下る。

縁談　終りを遂げざる象ありて凶縁なり。見合すべし。一代を通じては、夫婦和合を得ず縁の變る象あり。特に連合ひに情事の過ちありて辛勞する象あり。

待人　女ならば來るも、男ならば來らず。

戀愛　成立するも永續せず。現在成立せる戀は、相手に實情なく利慾に走れる象あれば、關係を絶つ方身の爲なり。

開業　永續の望みなし。見合すべし。

轉業　轉業後一時吉兆に見ゆるも後は凶なり。現狀を守るを吉とす。

就職　有望の如く見えて結局成功せず。

旅立　時期惡しく故障災難の憂ひあり。見合すべし。

移轉　不可。現狀を守るを吉とす。

訴訟　初め有利の如く見ゆるも結局は不利に歸す。爭ふべからず。

縺れ事　相方共利慾に迷ひ、感情に走れる爲に益紛糾する象あり。冷靜に立ち返るべし。

病氣　一時良好に見えてぶち返し重態に陷る象あり。注意最も肝要なり。

壽命　中年前後に危險の憂ひあり、此時期を無事に過さば相當長壽を得べし。

子寶　兒女に就きて辛勞多き象あり。特に女の子に就きては間違ひ多き故注意肝要なり。

試驗　意外の不成績なり。奮闘を要す。

失物　女の手に渡れる象なり。出で難し。

走人　色情關係に原因せり。その考へにて心當りを尋ぬれば分明すべし。

天候　定らず。一時晴るゝも再び險惡となる。

方位吉凶、　吉方東及西、凶方西南及東北。

火雷　豐

離下
震上

豐とは盛大の義である。此卦、上卦は震、下卦は離、離を火となし震を雷となす。即ち電雷交も至るの象にして、その勢ひ盛大にして遍く遠きに及ぶ。豐の意あり。又離を明となし震を動となす。内明にして外動くもの、夫れ明にして動けば百事盛大を致す所以にして、亦豐の義である。是れ此卦を名づけて豐と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、才能人に優れ、金運も豐かで、盛大な運勢の生れであるが、中年頃に至り心に驕りを生じ行ひを亂して、折角の盛運を破るに至る憂ひがあるから、身を慎しみ心を引締めて天授の幸運を守る心掛けが肝要である。

現在の運勢、運氣盛大にして萬事順調に運ぶ時であるが、驕慢に流れ怠りを生じて運氣を破る憂ひがあるから慎しみが肝要である。尚、油斷よりの失敗、欺かるゝ象、火難等に注意を要する。

願望　調ふ望みあるも、油斷怠慢より破るゝ憂ひあれば注意肝要なり。

金談　調ふ望みあるも、餘り安心し過ぎて手違ひを招く惧れあれば注意大切なり。

賣買　人任せにして努力を缺き、又は細心を缺きて利あるものを損失に歸する憂ひあれば注意。

相場　上る。然し天上を突く象あれば注意。

緣談　仲人の言を信じ過ぎて案外する憂ひあれば注意を要す。先方の身柄を確めたる上にて滿足を得たらば纏めて良し。一代を通じては緣運よき方なるも、夫婦共に經濟上無頓着に流れて困難に陷る憂ひあれば注意を要す。

待人　違約して來らざる象あり。

戀愛　餘り安心し過ぎて案外の結果を見る象あれば注意。尚現在成立せる戀は、先方より欺かるゝ憂ひあれば餘り心を許し過ぎざること肝要なり。

開業　始めて吉。將來發展すべし。然し調子に乘らざる心掛け肝要なり。

轉業　現狀を守りて奮闘するを吉とす。

就職　調ふ望みあるも、間際に至り油斷又は手落ちより破るゝ憂ひあれば注意を要す。

旅立　出でゝよし。然し旅行中不注意より災難を招く憂ひあれば注意を要す。

移轉　現狀を守るを吉とす。

訴訟　勝利の望みあるも、油斷手落ちより不利に陷る惧れあれば注意肝要なり。
縒れ事　人任せにせず直接に解決に努むれば都合よく解決すべし。
病氣　今が頂上にて、此所を無事に經過せば全快すべし。然し直り際に油斷せぬこと大切なり。
壽命　長壽なり。然し不攝生より天壽を全うせざる憂ひあれば慎しみを要す。
子寶　家運を興すに至る有望なる兒女多し。
試驗　好成績なり。然し將來の慢心を慎しむこと肝要なり。
失物　人手に渡れる象あり。物品ならば出づる望みあるも金錢は出で難し。
走人　遠方へ走れる象なるもその中に便りあるべし。
天候　風雨の後晴る。尚大雷雨來る兆あり。
方位吉凶、　吉方東及南、凶方東南及東北。

艮下離上　火山旅

旅とは行旅の意で、遷轉して止まざるの義である。此卦、上卦は離、下卦は艮、艮を山となし離を火となす。即ち火山を焚くの象、夫れ火の山を焚くや、山は止りて動かざるも火は移り轉じて止らずこれを譬ふれば、山は旅舍の如く、火は旅人の移り行くが如くであつて、旅の義である。又、艮を止るとなし離を明となす。恰も旅人暮るれば止り、朝に明を見て行くが如く、亦旅の義である。是れ此卦を名づけて旅と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　孤獨の生れで波瀾浮沈烈しく、屢々住所境遇職業等に變化を生ずる象があり、晩年に至るも一身定らずして辛勞多き憂ひがある。然し誠意を以て人と親しみ、明智の人に從ひて德を磨けば、凶運を脱して吉運を克ち得るに至るものである。
現在の運勢、　衰運にして諸事意に任せず、艱難辛勞多き時であるから、人の意見を重んじ身を慎しみて氣運の挽回に努むることが肝要である。尚、心の迷ひよりの災ひ、住所境遇の變動、家庭身内の不和、爭事、別離、火難等に注意を要する。
願望　叶はず。焦燥らずして時を待つべし。
金談　豫定外れて狼狽する象あり。
賣買　見込外れ又は優柔不斷より機を逸して損失を招く象あり。

相場　一時上るも後定らず。

緣談　永續の見込みなき緣なり。見合すべし。一代を通じては、緣變るか、辛勞多き象あり。

待人　一日延ばしにして結局來らず。

戀愛　先方の素行治らず既に情人ある象あり。思切るべし。現在成立せる戀は相手方多情にして心定らず永續する時は禍ひの基となる象あれば手を切るを吉とす。

開業　時期悪しく末の見込みなき故見合すべし。

轉業　飽性にて轉するも永續せざる象あり。

就職　當分望みなし。

旅立　事情上己むを得ざる象あるも、旅行の目的は都合よく運ばざるべし。

移轉　己むを得ざるべし。然し轉居後も安定を得ざる象あり。

訴訟　苦心するのみにて不利に終るべし。

縺れ事　心定らざる爲に益々紛糾する象あり。意志を強く持ちて果斷の處置を採る必要あり。

病氣　全快望み難し。出來るだけ手を盡して天命を待つより外致方なし。

壽命　病弱にして短命の憂ひあれば、精々身體を大切にすべし。

子寶　子供緣薄く辛勞多し。

試驗　勉强足らざる爲に不成績なり。

失物　人手に渡れり、出でず。

走人　遠方へ走りて行方知れざるか、生命に危險あり。

天候　定らず。

方位吉凶、　吉方南及東北。凶方北及東南。

巽下巽上　巽爲風

巽とは巽順の義。又入るの義である。此の卦、上卦下卦共に巽、巽を風となす。風の性たるや、聲なく形なく能く物に入り能く物に順ふ。即ち巽順の象あり。又、卦體を以て見れば、一陰二陽の下にありて、その身を卑下し伏し從ふの象、亦巽順の意あり。故に此の卦を名づけて巽と稱する所以である。

一代の運勢、　一代を通じて波瀾變化多く、大いに成功を克ち得る時もあれば、失敗挫折して窮境に陷る時もあつて、兎角運氣の定らざる象がある。故に意志の鍛錬を積むと共に、人の意見を重んじて我意に走らざる心掛けが肝要である。尙男子は遠方に出でゝ成功を得るか、富豪名家に養子となる象があり、女子は結婚上我儘に流れて不幸を見る憂ひがあるから慎しむべきである。

現在の運勢、　運氣定らず、心身共に迷ひを生じて事を過つ象があるが、意志を強く持ち人の意見を重んじて進めば、漸次吉運に向ふものである。尙一身上の動搖、住所職業の變動、家督相續上の爭ひ、決斷を缺き物事に惑ひての失敗等の象があるから注意を要する。

願望　現在の所にては成否定らざる象あるも、今後の努力と決斷如何により調ふ望みあり。

金談　調ふ望みあるも今一段の努力を要す。

賣買　利を得べき運氣あるも、決斷を缺き機を逸して取遁す憂ひあれば注意を要す。

相場　亂高下を示すも、大勢としては初め下りて後上るべし。

緣談　良緣の方なるも色々と縺れありて容易に纏らざる象あれば、話を纏むるには決斷肝要なり。

一代を通じては、男子は性質順良なる妻を娶りて幸福を得るも、女子は口先のみ上手にて働きなく、薄情なる夫に添ひて苦勞する憂ひあれば注意肝要なり。

待人　先方の心定らず來否に迷へる象あり。今一度手強く催足すべし。

戀愛　先方の心に迷ひありて定らざる象あれば、親切を盡して先方の心を確かむること肝要なり。現在成立せる戀は相互間の疑惑より破るゝ憂ひあれば注意を要す。

開業　今一層準備を整へ、時期を見て始むべし。

轉業　目上の意見を聞き贊成を得ば轉ずべし。自分勝手に轉ずるは不可なり。

就職　定るが如く見えて定らず。目上に依賴して時節を待つべし。

旅立　出でゝ差支へなきも、事情を生じて中止となる象あり。

移轉　止むを得ざる象あり。遲疑せずして斷然轉ずべし。

訴訟　爭ふは不利なり。和解すべし。

縺事　優柔不斷に流るゝ爲に容爲に解決を見ざる象あり。果斷の處置を採るか、又は目上に一任すべし。

病氣　差引ありて病勢定らず。茲暫く經過を見ざれば快否何れとも定り難し。

壽命　强健に見えて時々重病に罹る象あり。攝生を怠らざれば長壽を保ち得べし。

子寶　子供多き方なるも、意見一致せず和合を缺く子供を生ずる憂ひあれば注意を要す。

試驗　成績不同にして憂秀なる科目と劣等なる科目と入交る象あり。

失物　物の下に紛れ込める象なり。手遲れせば人手に渡りて出です。早く南を中心に東より西へかけての方角を尋ぬべし。

走人　轉々として行先地定らざる爲に容易に手懸りなき象あり。官權に依賴して氣長に便りを待つべし。

天候　定らず。風出づれば晴る。

方位吉凶、　吉方東南及南、凶方東及北。

䷹ 兌下兌上　兌爲澤

兌とは悅ぶの義である。此卦、上卦下卦共に兌、兌を澤となす。即ち兩澤相麗くの象、夫れ澤は水を受けて流るゝことなく、萬物を潤してこれを說ばすもの、これ兌の義である。又、兌を少女となす女の少くして妖冶なる、人これを見て說ばざるものなし。亦兌の義である是れ此卦を名づけて兌と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、　幼少年時代は非常に幸福なる家庭に生れて人に羨れる象あるも、二十歲前後又は三十代に境遇一變するか、失敗挫折を招きて逆境に陷る憂ひがあるから注意が肝要である。尙男子は女難に注意を要する。

現在の運勢、　運氣平安にして人の親愛を受け、身上に悅びある時なるも、平安に馴れて緊張を缺き誠實を失ひて邪道に走り、爲に運氣を破り禍ひを招くに至る象があるから愼しみが肝要である。尙物事の中折れ、口舌の禍ひ、負傷病難女難等に注意を要する。

願望　人の助力ありて調ふ望みあるも、油斷安心に流れて中途にて破るゝ憂ひあれば注意を要す。

金談　七八分通り纏りて間際に破るゝ憂ひあれば注意肝要なり。

賣買　順調に運ぶも餘り利を焦燥り慾に耽る時は、意外の失敗損失を招く象あれば愼しみ肝要なり

相場　崩落の兆あり。

緣談　家庭和合し將來幸福を得べき良緣なるも、成立上中途にて行惱む憂ひあれば注意を要す。一代を通じても圓滿幸福を得べきも中年頃多少亂れを見る惧れあれば注意すべし。

待人　來るも多少遲るゝことあり。

戀愛　先方にも愛着心あり。必ず成立すべし。

開業　初めは順調に進むも中折れする憂ひあれば安心油斷を戒むべし。

轉業　現狀を守る方將來の爲有利なり。

就職　友人の盡力によりて成立すべし。

旅立　出でゝ宜し。

移轉　なるべくは現狀を守るを吉とす。

訴訟　爭ふは不利なり。和解すべし。

縺れ事　一單は片附くも再び縺るゝ憂ひあり。口先を愼しむべし。

病氣　重態にして危險の惧れあれば、細心に療養を盡すこと肝要なり。

壽命　二十歲前後、三十歲より四十歲迄の間に危險の惧れあり。此時期を無事に經過せば長壽を得べし。

子寶　子供多き方なるも女の子多き象あり。

試驗　好成績を得べし。

失物　人手に渡れるも出づる望みあり。

走人　間もなく居所分明すべし。然し女子は貞操上取返しのつかぬ間違ひを生ずる憂ひあり。方角西を尋ぬべし。

天候　雨天がちなり。

方位吉凶、吉方西、凶方東北。

䷺　坎下巽上　風水渙

渙とは解散し氷釋するの義である。此卦、上卦は巽、下卦は坎、坎を水となし巽は風となす。即ち風水上を行きて、水氣下に凝るを渙散するの象にして、渙の義である。又巽を春風となし坎を氷雪となす。即ち春風吹來りて氷雪解散消釋するの象にして、亦渙の義である。これ此卦を名づけて渙と稱する所以である。

占斷

一代の運勢、晩運の生れで、四十歲位迄は色々と辛勞艱難多き象あるも、四十代より運氣開け來り晩年へかけて盛運幸福を得るものであるから、末を樂しみにして忍耐努力することが肝要である。

現在の運勢、辛勞艱難解け散じて、將に運氣の開通を見る時であるから、此際努力して運氣の發展を計る心掛けが肝要である。尙、他の援助、澁滯事の解通等の象あるも、心定らざる爲の失敗不利、身上の變動、別離、金錢損失又は不時の出費の象あれば注意。

願望　執着心を缺き心定らざる爲に調ひ難し。不動の精神を以て努力せば他の助けを得て成就すべし。

金談　急に調ひ難し。但し方面を變へて氣長に運ばゞ思掛けぬ所にて調ふことあり。

賣買　損失の兆あり。特に賣物は値段折合はずして纏らず。

相場　崩落の象あり。

緣談　意外の故障を生じて破談となる象あり。又强いて纏むべき程の良緣ならず。一代を通じては緣の變る象あり。三十歲前後に特に注意を要す。尙男子は陽氣なるも家庭的に缺點ある妻を持ち、女子は素行治らざる夫と添ひて辛勞する象あり。

待人　來らず、自身より出向くべし。

戀愛　成功迄には幾多の故障困難ありて强固なる意志と多大なる忍耐とを要す。尙成立するも相手に戀心の憂ひあれば注意を要す。

開業　開業後豫想外の經營難に苦しむ象あり。然しそれを切拔くれば將來は望みあり。

轉業　多少の犧牲を拂ふとも、迷はずして斷然轉ずるを吉とす。

就職　現在望める口は外るゝも、他に途の開く象あり。

旅立　思切つて出掛くべし。旅程案外順調に運ぶべし。

移轉　轉ずる方吉なり。

訴訟　和解成立すべし。然し金錢上には多少の損害を免れず。

縺れ事　他の助けを借りて解決する手段を採らば、案外都合よく解決すべし。

病氣　危險の容態にして今が最も大切の時なり。然し玆數日間に持直さば全快の望みあり。

壽命　二十歲前後及び四十歲前後に危險の惧れあり。此時期を無事に經過せば長壽を保つべし。

子寶　子供を得ること遲し。而して末の望みあるも幼少時は身體虛弱の象あれば注意を要す。

試驗　良否共に意外の成績を見るべし。

失物　人手に渡れるか、何かの中に紛れ込める象なり。出で難し。

走人　遠方に走りて居所定らず。東南又は北にて海邊を尋ぬべし。

天候　風出で一暴れ暴れて後晴る。